

平成31年度国・県予算に対する統一要望について

平成30年5月28日  
市長公室

《総括表》

1 要望件数総括表

(単位：件)

要望件数			内 訳					
			国			県		
合計	新規	継続	小計	新規	継続	小計	新規	継続
34	0	34	18	0	18	16	0	16
(36)	(3)	(33)	(19)	(1)	(18)	(17)	(2)	(15)

※ ( ) 内は前回の要望件数

2 所管部署内訳

(1) 国関係

国土交通省	15
環境省	1
文部科学省	1
防衛省	1
合 計	18

(2) 県関係

文化スポーツ部	1
環境生活部	1
県土整備部	14
合 計	16

3 各部等の提出内訳

部 等 名	合 計	内 訳	
		国	県
総 務 部	1	1	0
市 民 部	1	0	1
建 設 部	22	11	11
都市整備部	6	4	2
玉山総合事務所	2	1	1
上下水道局	6	3	3
教育委員会	1	1	0
合 計	39	21	18

※国要望No.1及び県要望No.3は、建設部、都市整備部及び上下水道局の合同提出  
 ※国要望No.17は、都市整備部と教育委員会の合同提出

平成31年度 国予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は県に対しても要望している項目

No.	頁	要望事項 (件名)	新・継	所管部署	提出部等名	備考
①	1	社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局, 都市局, 水管理・国土保全局, 住宅局)	建設部 都市整備部 上下水道局	県3
②	3	一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県4
③	5	一般国道106号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進及び直轄指定区間編入について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県5
④	8	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進及び一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県6
5	11	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県7
⑥	14	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	国土交通省 (道路局)	玉山総合事務所	県8
7	16	都市局所管盛岡市街路事業の推進について	継続	国土交通省 (都市局)	建設部	県9
8	18	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	
⑨	20	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県11
10	23	都市基盤河川改修事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県12
11	25	一般河川北上川水系築川ダム建設事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県13
⑫	27	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県14
⑬	30	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局, 都市局)	都市整備部	県15
14	32	盛岡地区かわまちづくり事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	都市整備部	
15	34	盛岡市公共下水道事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	上下水道局	
16	36	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	環境省 (環境再生・資源循環局)	上下水道局	県16
17	39	国指定史跡盛岡城跡保存整備事業及び国指定史跡志波城跡保存整備事業の推進について	継続	文部科学省 (文化庁・文化財部)	都市整備部 教育委員会	
⑮	41	防衛施設周辺整備事業(民生安定施設整備事業)による防災行政無線の整備推進について	継続	防衛省 (整備計画局)	総務部	

※○囲みは重点要望事項

平成31年度 県予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は国に対しても要望している項目

No.	頁	要望事項(件名)	新・継	所管部署	提出部等名	備考
1	43	スポーツ推進施策の充実強化について	継続	文化スポーツ部	市民部	
2	44	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	継続	環境生活部	上下水道局	
3	47	社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について	継続	県土整備部	建設部 都市整備部 上下水道局	国1
4	48	一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	国2
5	49	一般国道106号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進及び直轄指定区間編入について	継続	県土整備部	建設部	国3
6	51	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進及び一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について	継続	県土整備部	建設部	国4
7	53	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国5
8	55	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	県土整備部	玉山総合事務所	国6
9	56	都市局所管盛岡市街路事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国7
10	57	盛岡市内の県道の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	
11	59	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	国9
12	60	都市基盤河川改修事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国10
13	61	築川ダム建設事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	国11
14	62	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	国12
15	63	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	県土整備部	都市整備部	国13
16	64	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	県土整備部	上下水道局	国16

#### 4 今後の要望日程について

要望項目	要望日程	要望先
岩手県議会議員に対する要望説明	平成30年6月7日	盛岡選挙区選出岩手県議会議員
国に対する統一要望	平成30年7月11日 (予定)	各省庁, 岩手県選出国会議員
県に対する統一要望	平成30年7月25日 (予定)	岩手県盛岡広域振興局長

平成 31 年度

国・県予算に対する統一要望事項（案）

# 国予算に対する統一要望事項

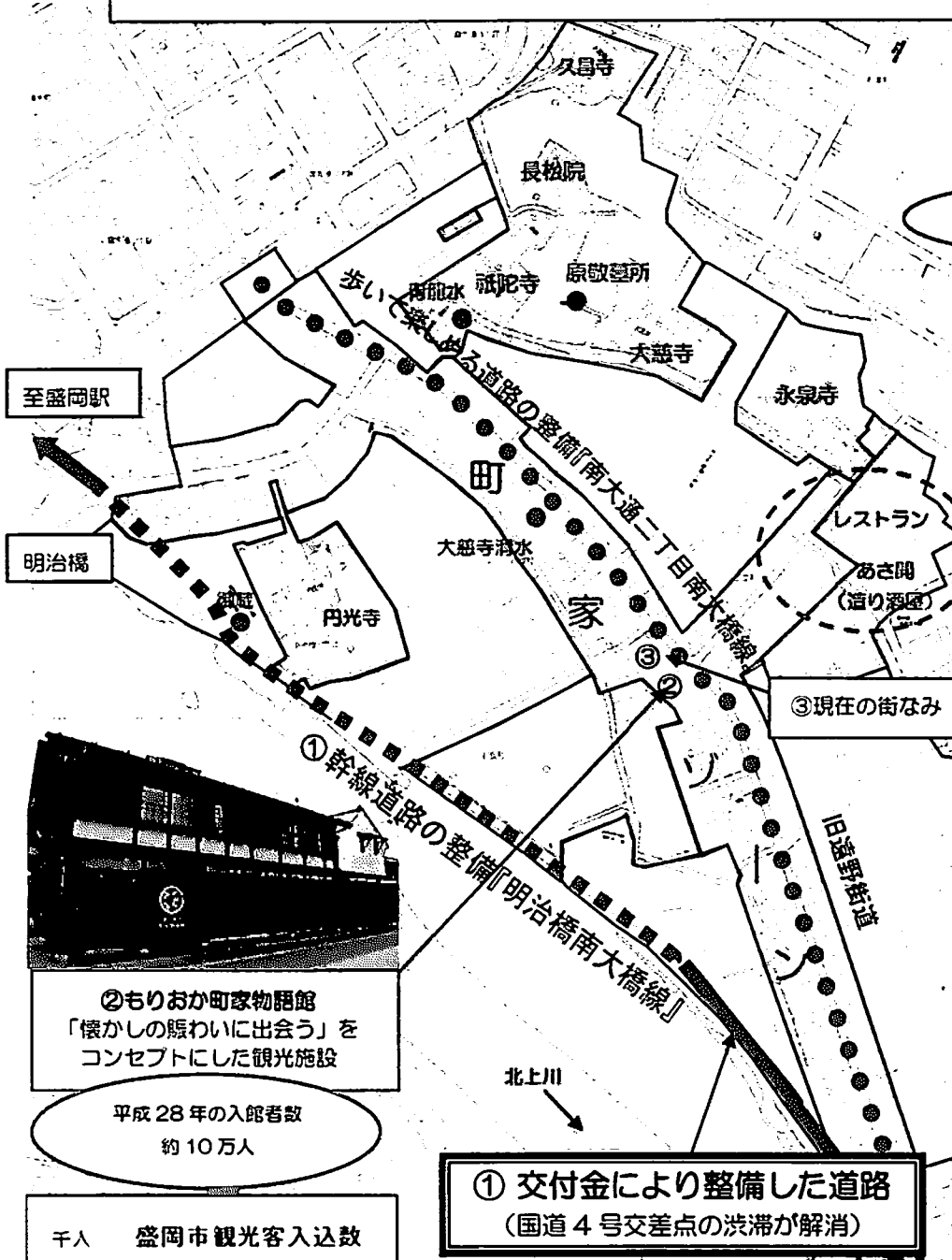
## 社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について

盛岡市では、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、<sup>ななやちよう</sup>鉦屋町をはじめとする歴史的街並みを活用した地域の活性化や、時代の変化に合わせた新たな手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備、「もりおか交通戦略」による都市活動を支える交通を中心とした交通環境の構築などの各種施策のほか、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

このような状況の下、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる一括交付金であり、本市においては、連携中枢都市圏の交通ネットワークの構築や円滑な都市活動及び安全な交通の確保をはじめ、インフラの長寿命化計画を踏まえた老朽化対策、通学路の歩道空間の確保や踏切道の拡幅等による安全対策、無電柱化による歴史的町並み等の景観形成、河川整備や下水道整備による市街地の浸水対策や健全な水環境・良好な水循環の創出、公園整備による都市の防災性の向上・良好な都市環境の提供など住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上に大きく寄与しております。整備によるストック効果としては、ここ数年本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワークの構築による経済活動における生産性の向上や観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

つきましては、本交付金の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、事業費の確保について要望いたします。

# 社会資本整備総合交付金事業を活用した鉈屋町の活性化 ～地域住民との協働によるまちづくりにより様々なイベントを開催～



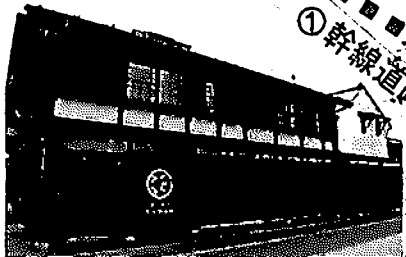
	居住ゾーン
	環境保護ゾーン
	賑わいゾーン

「盛岡町家旧暦の餅祭り」の様子



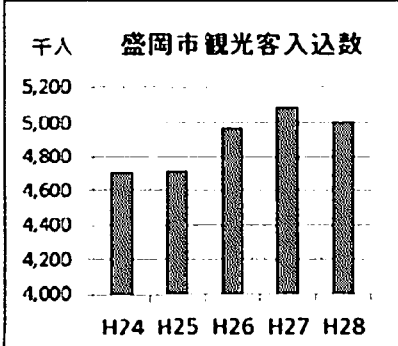
至盛岡駅

明治橋



②もりおか町家物産館  
「懐かしの賑わいに出会う」を  
コンセプトにした観光施設

平成 28 年の入館者数  
約 10 万人



盛岡市のまちづくりにより、着実に観光客  
が増加している。

① 交付金により整備した道路  
(国道 4 号交差点の渋滞が解消)



今後の整備完成予定図 (無電柱化)



南大橋

至国道 4 号



## 一般国道106号「<sup>となんかわめ</sup>都南川目道路」の整備促進について

一般国道106号は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約100Kmの路線であり、一般国道46号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸を形成し、岩手県の産業・経済・文化の交流や観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に寄与する重要路線であり、特に、宮古盛岡横断道路は、宮古市を中心とした三陸沿岸地区と盛岡都市圏との強力な連携を促進することにより、産業経済の活性化とあわせて、三陸沿岸地区の早期復興を支援する道路でもあります。平成30年6月22日には、宮古一室蘭フェリーの運行開始が決定されており、北海道と東北、首都圏間の交流・物流の活発化により、東北の復興を強く後押しし、港湾と道路のストック効果の発現が期待されています。

こうしたなか、国におきましては、平成24年度から、新たに宮古<sup>みやこ</sup>～箱石<sup>はこいし</sup>間、平津<sup>ひらつ</sup>戸<sup>と</sup>・岩井<sup>いわい</sup>～松草<sup>まつくさ</sup>間、区界<sup>くざかい</sup>～築川<sup>やながわ</sup>間の3工区48Kmが本格的に事業着手され、平成25年3月には、「築川道路」が供用開始されたところであり、平成28年3月には「都南川目道路」の川目IC～田の沢IC間の供用開始、また、平成29年5月には「都南川目道路」の手代森トンネルが貫通するなど、平成31年度の開通に向けて、着実に事業に取り組んでいただいております。

この中において、一般国道106号「都南川目道路」は、東北縦貫自動車道とのアクセスの強化、盛岡市中心部へのアクセス向上や、高次医療施設への救急搬送を担う重要な区間ともなっております。

つきましては、広大な面積を有する岩手県において、災害に強い県土を構築し、豊かな地域資源を活かした地域づくりの実現と、「ひと・まち・未来が輝き世界につながる盛岡」の実現のために、一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について要望いたします。

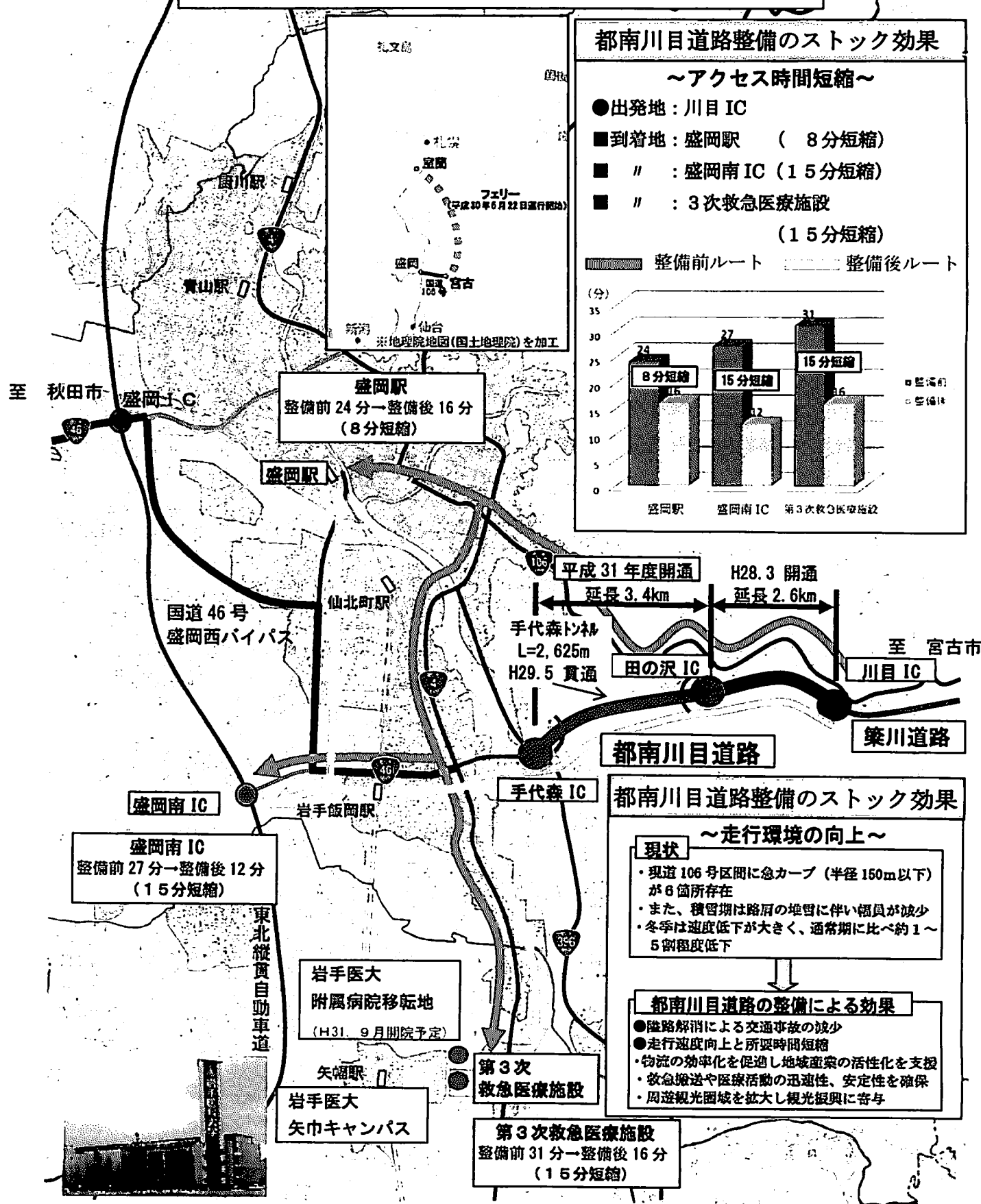
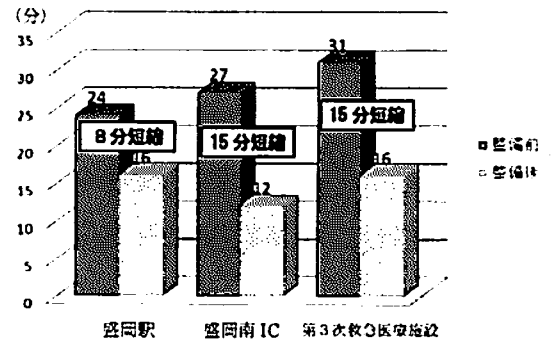
# 一般国道 106 号「都南川目道路」の整備促進要望図

## 都南川目道路整備のストック効果

### ～アクセス時間短縮～

- 出発地：川目 IC
- 到着地：盛岡駅 ( 8分短縮)
- // : 盛岡南 IC (15分短縮)
- // : 3次救急医療施設 (15分短縮)

■ 整備前ルート    □ 整備後ルート



**盛岡駅**  
整備前 24分—整備後 16分  
(8分短縮)

**盛岡南 IC**  
整備前 27分—整備後 12分  
(15分短縮)

**第3次救急医療施設**  
整備前 31分—整備後 16分  
(15分短縮)

## 都南川目道路整備のストック効果

### ～走行環境の向上～

- 現状**
- ・現道 106 号区間に急カーブ (半径 150m 以下) が 6 箇所存在
  - ・また、積雪期は路肩の堆雪に伴い幅員が減少
  - ・冬季は速度低下が大きく、通常期に比べ約 1～5 割程度低下

- 都南川目道路の整備による効果**
- 隘路解消による交通事故の減少
  - 走行速度向上と所要時間短縮
  - 物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援
  - 救急搬送や医療活動の迅速性、安定性を確保
  - 周辺観光圏域を拡大し観光振興に寄与

## 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について

宮古盛岡横断道路（一般国道 106 号）は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市と県都盛岡市を結ぶ延長約 66 km の路線であり、東日本大震災の際には、緊急輸送道路の「くしの歯作戦」の一路線として、迅速な救助活動、救援物資の搬送ルートとして利用され、現在「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」として、国の権限代行により整備にご尽力いただいているところです。

本路線は、宮古・盛岡間の移動時間が短縮され、物流の効率化促進による地域産業の活性化や周遊観光圏域の拡大による経済効果のほか、沿岸部から内陸部の高次医療施設への救急搬送や医療活動の安定性・迅速性の確保など、「ストック効果」の発揮が大いに見込める路線であります。

また、平成 30 年 6 月 22 日には、宮古一室蘭フェリーの運航開始も決定されており、港湾と道路の整備によって、今後一層の交流・物流の活発化が期待されているところであります。

一方、本路線は、交通事故等による通行止めが多数発生し、近隣に迂回路もないことから、その安全性や信頼性に大きな課題を抱えております。また、平成 28 年 8 月の台風第 10 号の影響により、11 日間の通行止めが発生するなど、災害に対する脆弱性の解消が急務となっております。

北上高地特有の急峻な地形のため、トンネルや高架橋による整備により、高度な維持管理に関する技術が必要とされます。また、全区間延長の約 40% を超える区間が新設区間であり、新設区間の現道における既存集落については、生活道路としての機能確保、バス路線維持等の自治体としての新たな役割が必要と見込まれており、国と地方自治体の役割分担による適切な管理が望まれます。

つきましては、東日本大震災からの早期復興に向け、安全で信頼性の高い高規格道路として、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、三陸沿岸地区と内陸との強力な連携により北東北地域の産業・経済・文化の交流、豊かな地域資源を活かした観光誘客等の促進を図るとともに、国と地方自治体の役割分担による適切な維持管理が図られるよう、次のことを要望いたします。

## 記

- 1 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進と全線高規格化を図ること。
- 2 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」については、国が直轄で管理すること。

# 宮古盛岡横断道路(復興支援道路)整備促進・直轄指定区間編入要望図

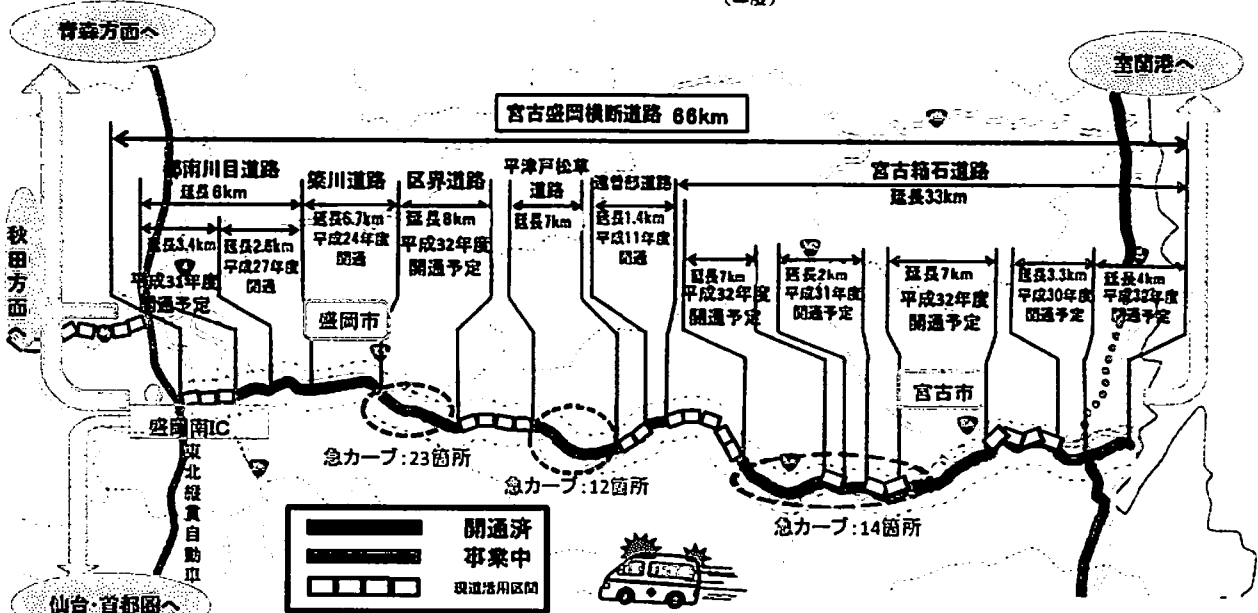
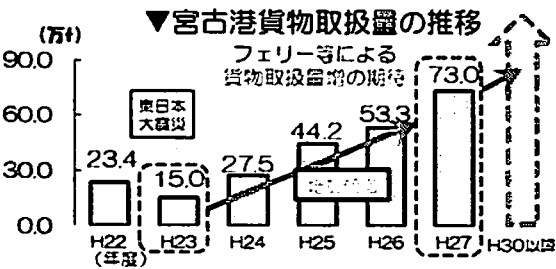
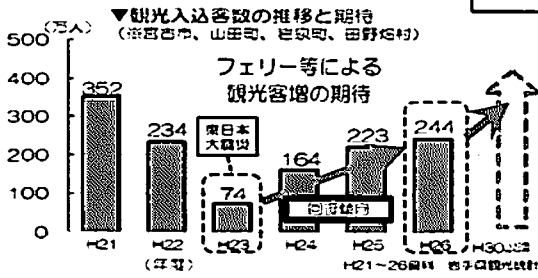
## 宮古盛岡横断道路整備による整備効果

物流・観光の広域化・活性化を実現  
救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保

### 航路開設に伴い期待される効果

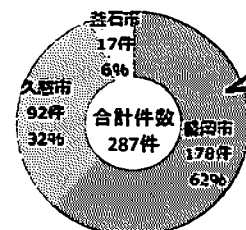
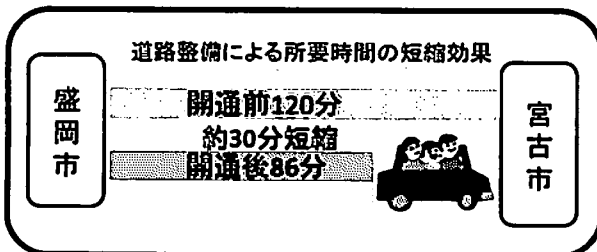
- ・観光振興、修学旅行生の誘致
- ・北海道と本州を結ぶ物流の活性化
- ・新規雇用や地元食糧の消費拡大

### 県内発のフェリー定期航路計画 (平成30年6月22日開設)



急カーブの解消→患者や運転手の負担の軽減

### ◆宮古地区の管外搬送先内訳(H28)



約6割が盛岡市へ搬送

※その他5件を除く  
資料:宮古地区広域行政組合  
消防本部防災実績(H28.6提供)

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進及び一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路の一部の機能を担う重要な路線であり、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ地域連携軸を形成する重要な路線となっております。

復興支援道路として整備が進められている宮古盛岡横断道路「都南川目道路」については、平成31年度供用の目標宣言がされており、主要地方道上米内湯沢線を経由した東西の広域連携を強化するものと期待しております。

一般国道46号「盛岡西バイパス」の南端と接している主要地方道上米内湯沢線の沿線は、盛岡流通センターや盛岡市中央卸売市場、JR盛岡貨物ターミナル等、物流施設が立地し、また、一般国道4号や一般国道46号「盛岡西バイパス」、並びに東北縦貫自動車道盛岡南IC、宮古盛岡横断道路「都南川目道路」が接続していることから、交通が集中し、一般国道4号や上米内湯沢線、その周辺道路に慢性的な渋滞が発生しております。

更に、一般国道4号「盛岡南道路」沿線では、プロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場整備構想があり、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

本市においては、人口減少や少子高齢化に対応した持続可能な都市圏域を形成する中心都市として、医療等の高次都市機能の集積強化を推進し、「コンパクト&ネットワーク」の形成を図っていく必要があります。

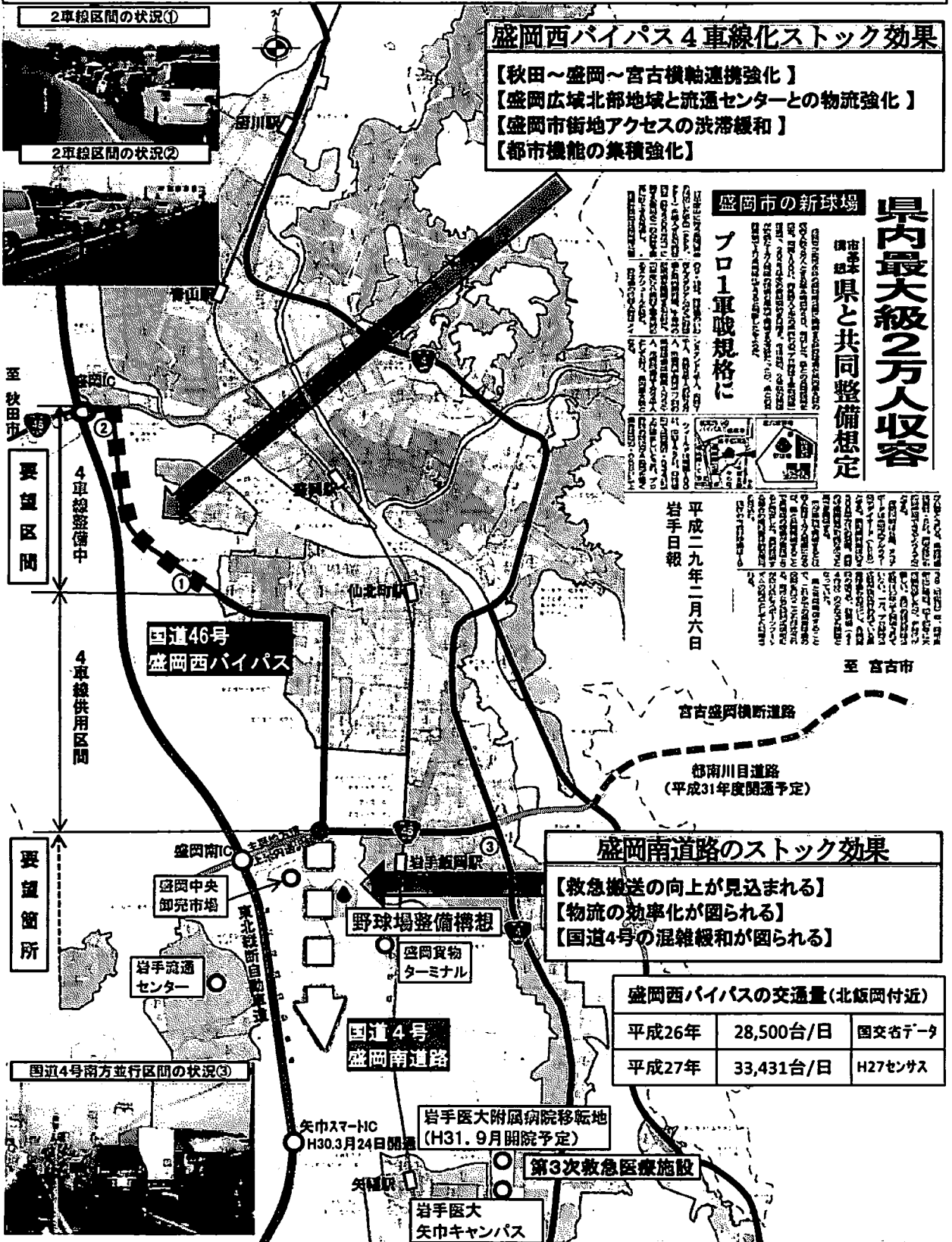
特にも、盛岡広域圏では、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院（平成31年9月開院予定）を中心とした医療体系の構築が大きな課題であり、この医療体系を効率的に機能させるため、一般国道をはじめとする主要幹線道路等のネットワーク形成が重要となっております。

つきましては、盛岡市を中心とした連携中枢都市圏の圏域人口の維持、持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化を図るとともに、渋滞のない効率的な都市圏道路ネットワークの形成のため、一般国道46号「盛岡西バイパ

ス」の4車線化の整備促進及び、一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について強く要望いたします。

# 要望図

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の4車線化整備促進及び 一般国道4号「盛岡南道路」の調査促進



**盛岡西バイパス4車線化ストック効果**

- 【秋田～盛岡～宮古横軸連携強化】
- 【盛岡広域北部地域と流通センターとの物流強化】
- 【盛岡市街地アクセスの渋滞緩和】
- 【都市機能の集積強化】

**盛岡市の新球場**  
**県内最大級2万人収容**  
 国県道と共同整備想定

**プロ1軍戦規格に**

平成二九年二月六日  
 岩手日報

**盛岡南道路のストック効果**

- 【救急搬送の向上が見込まれる】
- 【物流の効率化が図られる】
- 【国道4号の混雑緩和が図られる】

盛岡西バイパスの交通量(北飯岡付近)

平成26年	28,500台/日	国交省データ
平成27年	33,431台/日	H27センサス

岩手医大附属病院移転地 (H31. 9月開院予定)

第3次救急医療施設

岩手医大 矢巾キャンパス



## 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るためには、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。

滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川、中津川及び雫石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、このほど制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進に加え、道路インフラの老朽化対策として、予算の安定的な確保及び人材育成のための研修制度等の充実について要望いたします。

### 1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路線名	要望地区	工種
継続	津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	永井地区	道路改築
〃	谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	厨川地区	〃
〃	岩手公園開運橋線	菜園地区	交通安全

〃	<small>ひがしなかのかど</small> 東中野門線	東中野地区	〃
〃	<small>みなみおおはしめいじばし</small> 南大橋明治橋線	<small>ななやちやう</small> 鉾屋町地区	〃
〃	<small>いわていおかえきとうざいじゆうつうろ</small> 岩手飯岡駅東西自由通路	<small>ながい</small> 永井地区	〃

- 2 道路インフラの老朽化対策として、予算の安定的な確保、補助制度の拡充、人材育成のための研修制度等を要望する。



## 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について

一般国道4号渋民バイパスは、盛岡市<sup>しぶたみ</sup>渋民<sup>おおまえだ</sup>字大前田から玉山馬場<sup>たまやまばば</sup>字川原<sup>かわはら</sup>に至る約5.6kmのバイパスであり、暫定2車線として整備が進められ、平成16年12月には渋民字大前田からの約2.5kmの区間が開通し、平成27年4月に玉山馬場字川原に至る全線が開通しております。

これにより、旧玉山村の市街地を通過する旧国道4号の交通量は半減し、特に、大型車車輛の激減により、通学路の安全性が確保されるなど、地域の安全で安心な道路環境が確保されました。

道の駅構想については、平成6年頃から検討され、平成7年には一部用地を確保していたものでありますが、平成27年4月に国道4号渋民バイパスが全線供用されたことを受け、盛岡市として初の道の駅の整備に向け、市の各部局をあげて整備方針の具体的な検討を始め、平成28年度には基本計画の作成に着手し、地域住民や関係団体の協力のもと計画策定を進めており、平成29年度には地域住民との懇談会や、先進道の駅の利用者ニーズ調査、事業用地関係整理などを実施し、導入機能・整備規模・整備手法等の検討を行いながら基本計画案の作成を進めております。

本市の目指す道の駅は、姫神山や岩手山の眺望をいかしながら、石川啄木記念館や旧尋常小学校の建築物など、啄木ゆかりの施設との連携により、啄木が愛した原風景や過ごした時間を感じていただける施設であるとともに、渋民バイパス利用者の休憩場所・道路情報等の提供場所として、道路利用者や地域住民の交通安全の確保と利便性向上を図るほか、地域産業である、付加価値のある農畜産物の販売や素材を生かした食をテーマとする地域振興の拠点施設となり、また、啄木を愛する地域住民や子ども達の集いの場となる施設であります。

つきましては、渋民バイパスの全線開通を契機に、地域資源を活用した地域再生を図るため、早期の整備が必要となっている状況にありますことから、当該道の駅整備の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

# 盛岡市道の駅設置事業概要

盛岡・玉山地域を「元気にする」道の駅を整備

## 【道の駅の整備で地域全体を活性化】

コンセプト：石川啄木が愛した盛岡・玉山を今に伝える道の駅

※ 石川啄木が愛した「風景」「味覚」「文化」「地域、人情」などが感じられる、ゆくもりある道の駅の整備をイメージしたもの

「知って」、「見て」、「食べて」、「買って」、「遊べる」地域資源を活用して、何度も訪れたいくなる道の駅を整備

### 道の駅の整備目的・整備効果

- ① 交通安全確保（国道4号道の駅空白区間 約83kmの休憩・交通情報提供）
- ② 物産品・農産品の販売・加工等による産業振興、雇用の創出・確保
- ③ 観光振興（盛岡の北の玄関口で観光PR・啄木記念館との連携等による観光拠点化）
- ④ 交流人口増による地域活性化
- ⑤ 地域防災力向上と道路利用者安全確保



予定地周辺状況・地域資源・主な整備効果

交通量：国土交通省東北地方整備局  
岩手河川国道事務所調べ

盛岡・玉山の魅力を発信し、地域課題の解決に寄与

## 都市局所管盛岡市街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共輸送機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

つきましては、都市局所管盛岡市街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

区 分	路 線 名	要望地区	工 種
継続	<small>もりおかまきみなみおどおり</small> 盛岡駅南大通線	<small>おおさかわら</small> 大沢川原地区	道路改築
〃	<small>めいじばし</small> 明治橋大沢川原線	<small>おどおり</small> 大通地区外	〃

都市局所管街路事業に係る要望箇所図

滝沢市

道路整備事業の効果

現状

- ◆車道幅員が狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆交通量の多い通学路等において歩行者が危険にさらされている。
- ◆中心市街地では電柱が歩行空間を狭め、冬季は積雪凍結により歩行困難な状況。

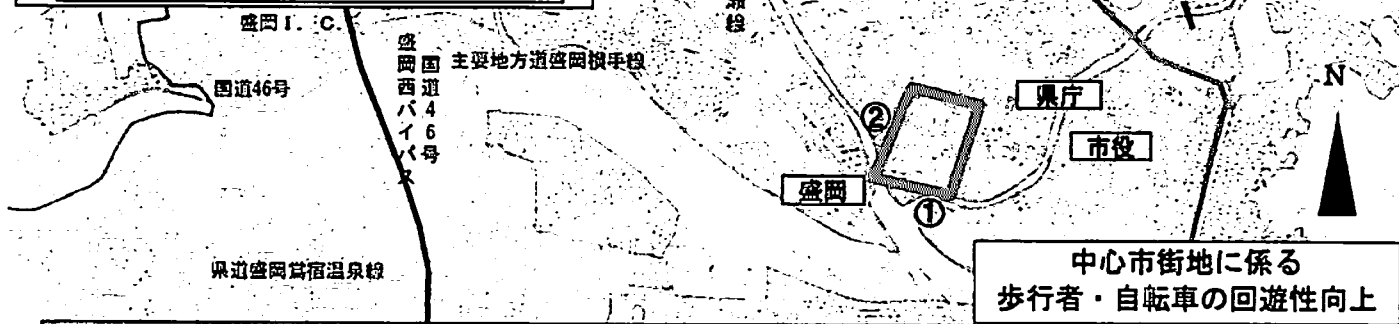
道路整備による効果

- ◆バス専用・優先レーンによる公共交通軸を形成することで、公共交通利用促進と中心市街地の交通環境の向上
- ◆都心を囲む道路形成により、中心市街地の歩行者・自転車の回遊性の向上

公共交通軸形成による



リバーシブルレーンによるバス走行レーン

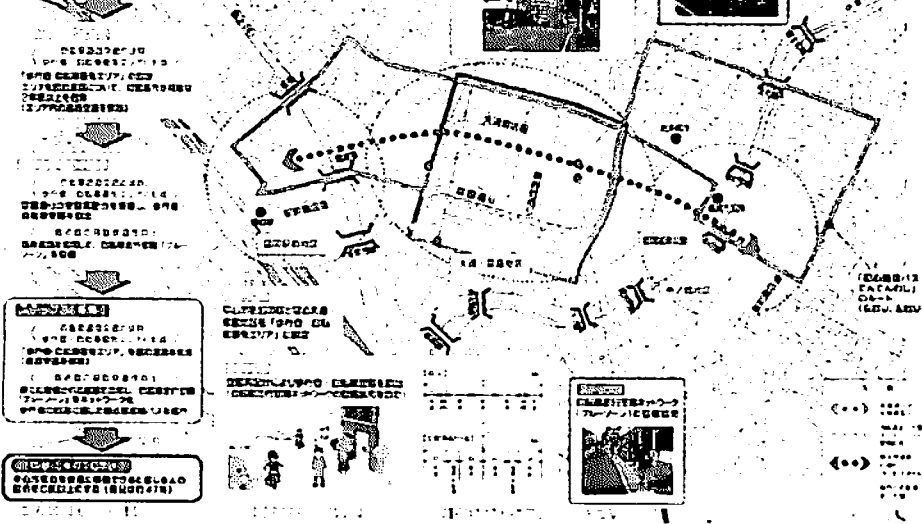


中心市街地に係る歩行者・自転車の回遊性向上

もりおか交通戦略  
歩いて楽しむ中心市街地形成戦略実施実施方針

① 中心市街地の歩行者・自転車の回遊性を向上させることにより、中心市街地の活性化を図る。

② 中心市街地の歩行者・自転車の回遊性を向上させることにより、中心市街地の活性化を図る。



番号	路線名等
①	盛岡駅南大通線(大沢川原地区)
②	明治橋大沢川原線(大通り)



## 盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進 について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川、中津川及び雫石川）は、着実に整備が進められ、その中でも北上川と中津川につきましては、平成19年9月に発生した洪水に伴う災害復旧費による迅速な対応や、平成25年8月に発生した大雨・洪水及び同年9月に発生した台風の際には四十四田ダムと御所ダムの連携により市街地へのはん濫を防いでいただいた対応のほか、平成29年度にはXRAIN（XバンドMPレーダ）の運用を開始していただき深く感謝いたしております。また、市街地に配慮した快適でうるおいのある河川環境の創出など、積極的に取り組んでいただき重ねて感謝いたします。

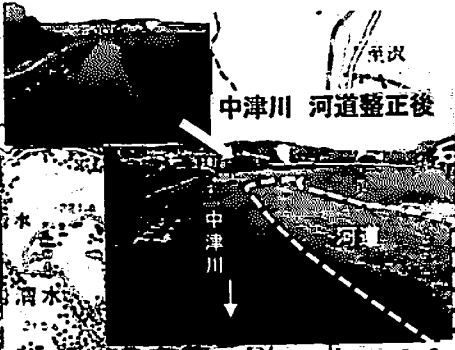
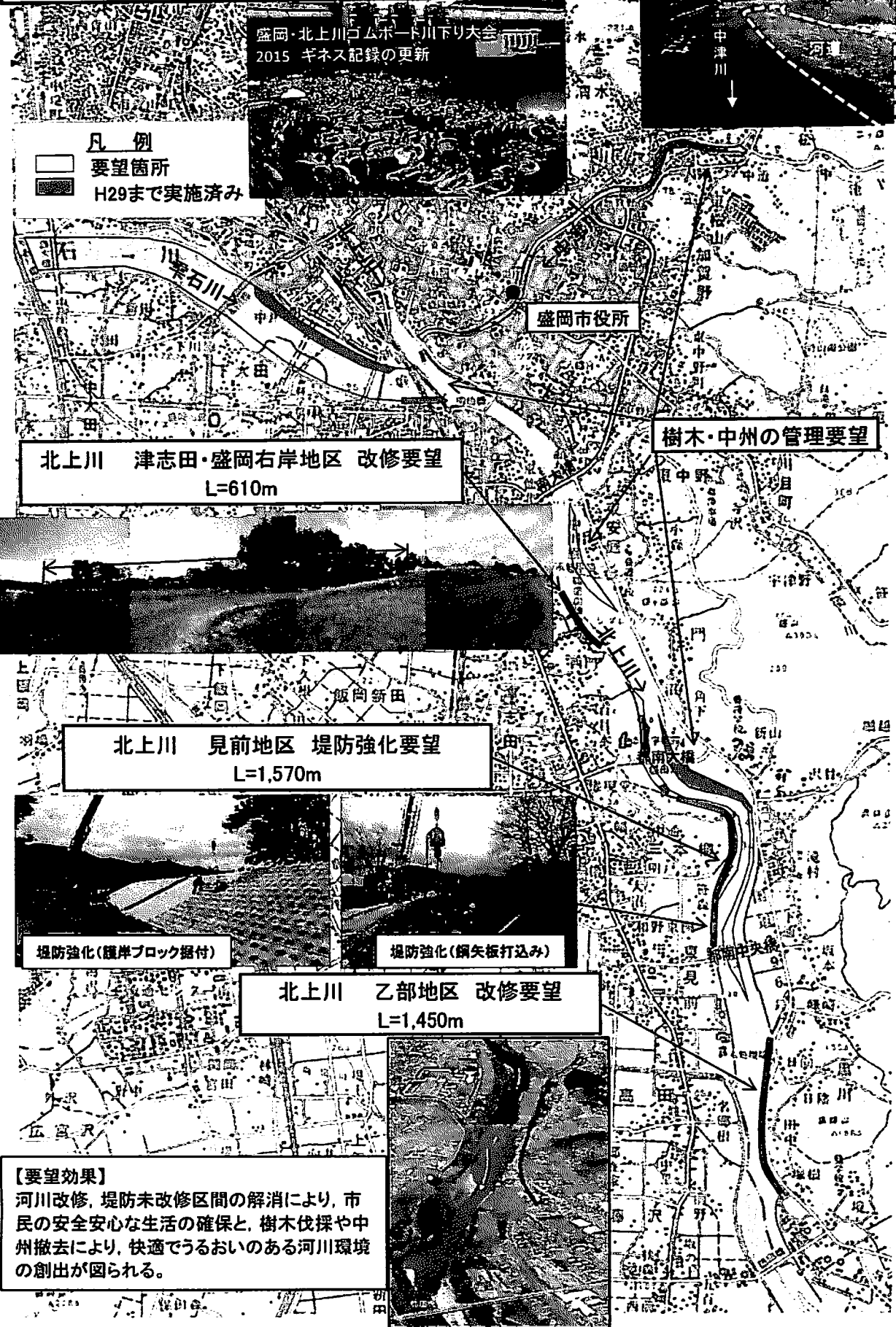
しかしながら、北上川、中津川及び雫石川の3河川は、一部未改修の状態にあるため、降雨期の増水による河岸決壊や無堤箇所への浸水が懸念されるほか、平成25年8月9日には、時間最大101mmの観測史上最大の大雨洪水により、北上川「見前地区」において漏水が発生し、流域市民に大きな不安を与えております。

つきましては、国土強靱化基本法に基づく「大規模災害の未然防止、発生時の被害拡大の防止」のため、治水事業費の確保及び河川改修事業の促進、また、平成14年7月及び平成19年9月の洪水により浸水被害が生じた、「津志田・盛岡右岸地区」及び「乙部地区」の未改修箇所の早期着手に加え、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく堤防のハード対策の促進について要望いたします。

また、北上川及び中津川の河川敷は、ギネス記録を持つ北上川ゴムボート川下りなど市民のレクリエーションの場としても広く活用されておりますので、引き続き、河川における河道内樹木群の伐採や中洲の撤去など、自然との共生及び環境との調和に配慮した適切な管理について要望いたします。



# 直轄管理河川北上川水系 治水事業要望箇所図



**凡 例**  
 □ 要望箇所  
 ■ H29まで実施済み

北上川 津志田・盛岡右岸地区 改修要望  
 L=610m

樹木・中州の管理要望



北上川 見前地区 堤防強化要望  
 L=1,570m



堤防強化(護岸ブロック据付)



堤防強化(鋼矢板打込み)

北上川 乙部地区 改修要望  
 L=1,450m

**【要望効果】**  
 河川改修、堤防未改修区間の解消により、市民の安全安心な生活の確保と、樹木伐採や中州撤去により、快適でうるおいのある河川環境の創出が図られる。



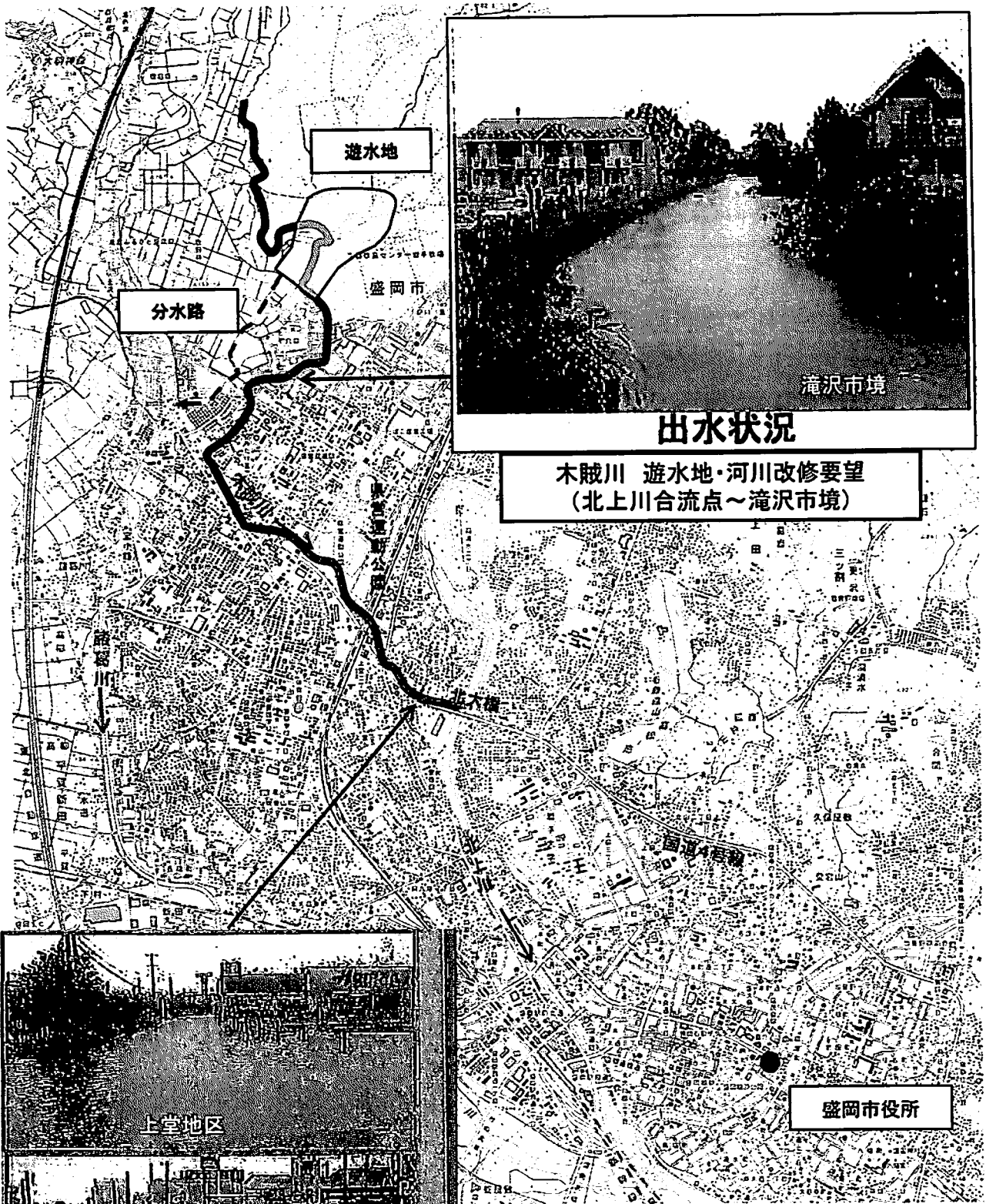
## 岩手県管理河川改修事業の促進について

盛岡市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川<sup>きたかみがわ</sup>北上川水系<sup>とくさきがわ</sup>木賊川では、平成14年7月の台風により115戸の床上・床下浸水被害、平成19年9月の大雨では避難勧告の発令、また、一級河川北上川及び一級河川<sup>まつかわ</sup>松川においては、平成25年9月に発生した台風により、86戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じており、住民に大きな不安を与えております。

また、被害にあった<sup>たまやま</sup>玉山地域においては、早期の抜本的河川改修が求められております。

つきましては、岩手県により進められております、この3河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、事業の促進についてご配慮いただきたく要望いたします。

# 岩手県管理河川改修事業



木賊川 遊水地・河川改修要望  
(北上川合流点～滝沢市境)

**【要望効果】**  
 H14. 7月の台風被害において発生した、床上浸水16戸、床下浸水99戸の被害解消を図る。



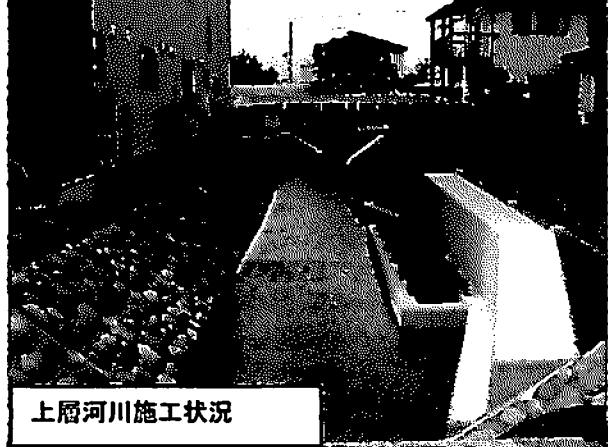
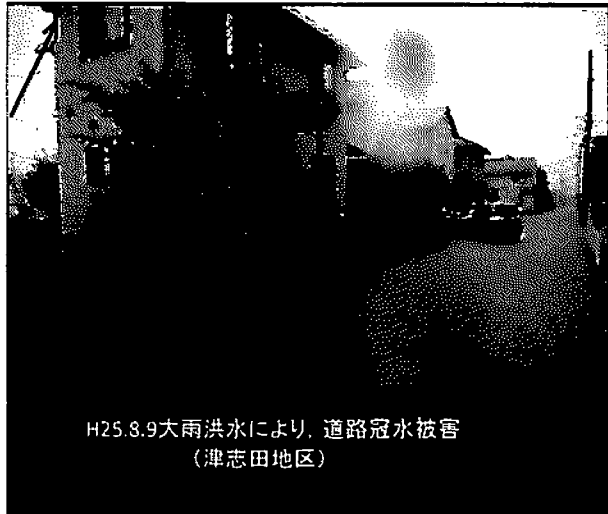
## 都市基盤河川改修事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系南川<sup>みなみかわ</sup>は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明地区<sup>どうみょう</sup>土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、産業等用地整備事業（道明地区）においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取組むことが必要不可欠であります。

つきましては、都市基盤河川改修事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

# 都市基盤河川改修事業



【要望効果】  
河川改修により、市民の安全安心な生活の確保と快適でうるおいのある環境の創出が図られる。

## 一級河川北上川水系やながわ築川ダム建設事業の促進について

一級河川北上川水系のダム事業につきましては、着実に進展しているところであり、深く感謝いたしております。

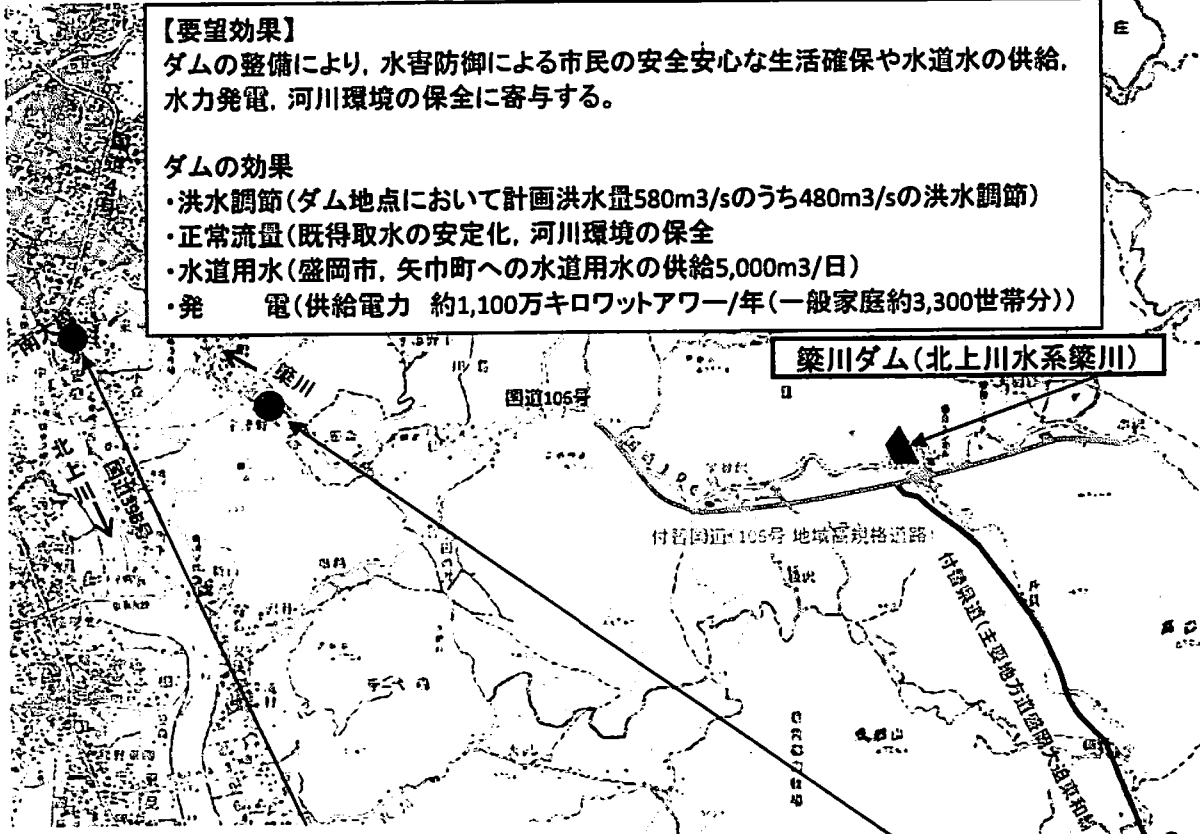
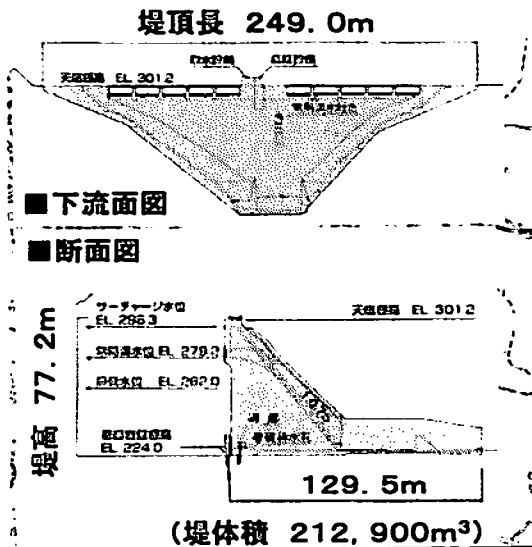
一級河川築川流域の洪水氾濫危険区域には、約 6,300 人が生活しており、平成 14 年 7 月の台風 6 号の洪水では堤防の一部が崩落するなど、浸水被害が懸念され、住民に大きな不安を与えております。

近年、全国的に集中豪雨や局所的な大雨が増大するなか、平成 25 年 8 月 9 日に発生した低気圧による大規模な出水では、御所ごしよダム及び四十四田しじゅうしだダムにおいて洪水調節等の連携により河川の水位低減を図り、洪水被害の防止に大きな役割を果たしました。

築川ダムには市民の安全安心な生活を確保するための洪水防御の役割のほか、水道水の確保や河川環境の保全、水力発電による二酸化炭素の軽減など多くの役割を担っていることから、早期完成が期待されております。

つきましては、岩手県が施行する築川ダム建設事業の促進が図られますよう、御配慮いただきたく要望いたします。

# 築川ダム建設事業





## 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

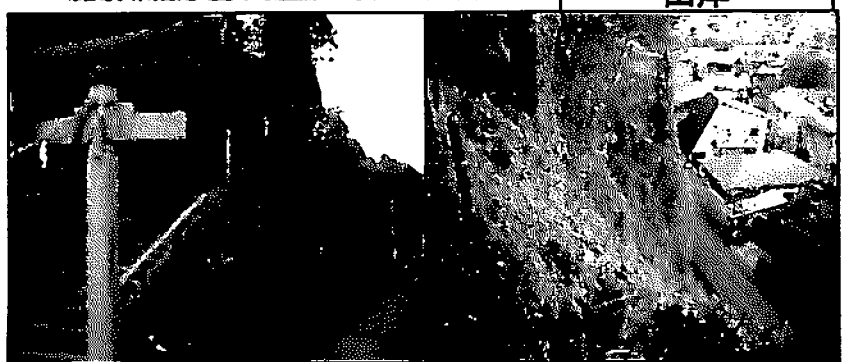
土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するために実施されております急傾斜地崩壊対策事業につきまして、着実な事業の推進へ御配慮いただき深く感謝いたしております。

しかしながら、平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震による影響や、平成 25 年 8 月に発生した大雨・洪水による<sup>つなぎ</sup> 藪地区の急傾斜地の一部崩落、平成 26 年 8 月の広島市の土砂災害、平成 28 年 8 月の本県沿岸部への台風被害など、地震や大雨による土砂災害が懸念され、地域住民に不安を与えております。

本市においては、ソフト対策として土砂災害から市民の生命を守ることを目的に、土砂災害ハザードマップを作成し、関係地域の住民へ配布を行ってきておりますが、市民の生活を守るためにはハード対策が必要不可欠となっております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業を推進するため、財源を確保し、岩手県事業の促進が図られますよう御配慮いただきたく要望いたします。

# 急傾斜地崩壊対策事業要望箇所図



**【要望効果】**  
土砂災害から市民の生命を守り、安全安心な生活の確保に寄与する。



## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

土地区画整理事業は、盛岡市のまちづくりに大きな役割を果たしてきたものの、少子高齢化・人口減少社会の進展や事業費確保、保留地等の土地処分価格の下落、事業の長期化などにより、狭隘道路や上下水道未整備区域の解消といった生活環境の改善が進まない状況にあることから、事業計画の見直しが必要となりました。

このような状況を改善するため、<sup>どうみょう</sup>道明地区及び<sup>となんちゅうおうだいさん</sup>都南中央第三地区では事業区域の縮小を含む大幅な見直しを平成 27 年度に実施しており、<sup>おおた</sup>太田地区では平成 29 年度に事業計画変更を行い事業費や事業期間の見直しを行いました。

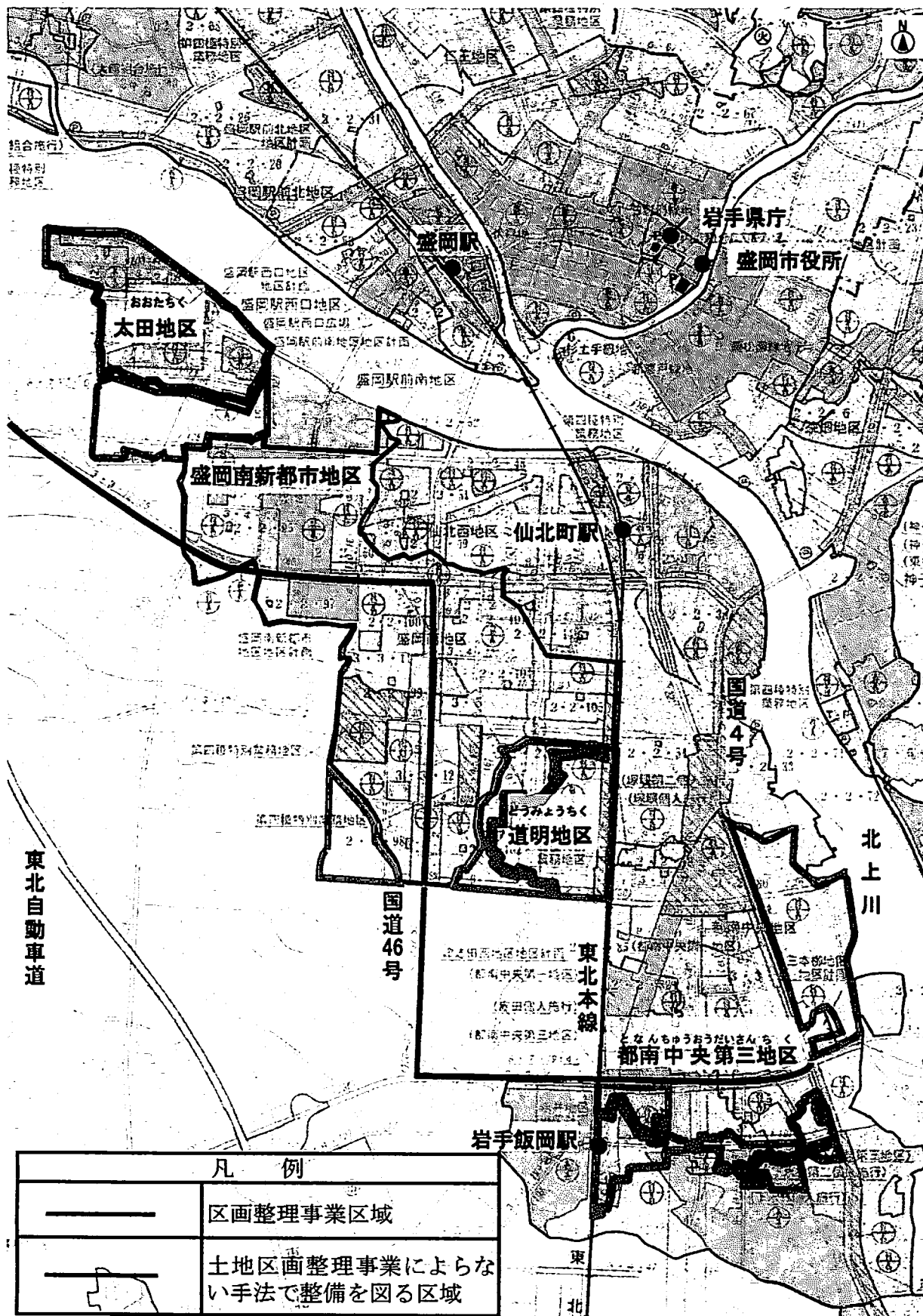
しかしながら、土地区画整理事業については事業区域の縮小等により事業費を削減してもなお多額の事業費が見込まれることから、財源を確保して一層の事業推進を図る必要があります。

また、土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域においては、道路整備を中心として土地区画整理事業と合わせた地区全体の生活環境改善の早期効果発現を行うべく、事業推進を図る必要があります。

つきましては、盛岡市の土地区画整理事業の推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について御配慮いただきたく要望いたします。

地区名	<sup>おおた</sup> 太田	<sup>どうみょう</sup> 道明	<sup>となんちゅうおうだいさん</sup> 都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～H36 (清算H41)	H15～H35 (清算H40)	H12～H34 (清算H39)
総事業費 (百万円)	区画整理 31,300	区画整理 5,620 区画整理外 2,863 計 8,483	区画整理 8,140 区画整理外 363 計 8,503
今後の見通し	～H36 まで (6年)	～H35 まで (5年)	～H34 まで (4年)
残事業費 (百万円)	区画整理 9,383	区画整理 2,140 区画整理外 2,467 計 4,607	区画整理 2,585 区画整理外 274 計 2,859
※上表「区画整理外」は、「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」			

# 盛岡市 土地区画整理等事業 位置図



## 盛岡地区かわまちづくり事業の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川、中津川及び雫石川）は、着実な整備が進められ、市街地に配慮した快適でうらおいのある水辺空間の創出など、積極的に取り組んでいただき深く感謝しております。

その中でも北上川や中津川におきましては、平成21年5月に「盛岡地区かわまちづくり」支援制度として認定され、学識経験者や市民活動関係者などで構成された懇談会を開催しながら、水辺空間を活用した観光アクセスの整備、案内板の設置による利便性の向上など、市民や観光客の利用向上を図る内容が盛り込まれた「盛岡地区かわまちづくり計画」が平成22年3月に策定されたところです。

また、平成25年11月に同計画の変更を行い、新たに、河川利用上の障害解消を図るための河道整正等の整備を行うこととされ、さらに平成28年度においては、北上川における舟運による新たな賑わいの創出が計画に見込まれ、整備期間も平成32年度まで延長しております。

本市では、この事業により中心市街地を流れる北上川、中津川の河川空間が観光アクセスや水辺の賑わいの創出の場として更なる活用が図られ、市民協働活動の推進や中心市街地の活性化にも大きく寄与するものと考えており、今後においても、より魅力的な水辺空間の創出に向けた事業の継続を期待しております。

つきましては、引き続き国と盛岡市が協働で行う、「盛岡地区かわまちづくり」事業の促進について御配慮いただきたく要望いたします。

# 「盛岡地区かわまちづくり」 (直轄・盛岡市)

いわてけん もりおかし  
 市町村名：岩手県 盛岡市  
 きたかみがわ きたかみがわ なかつがわ  
 対象河川：北上川水系 北上川・中津川

## 1. 概要

盛岡市では、「盛岡市総合計画」等において、観光の重要な資源と位置づけられている北上川・中津川と城下町としての歴史性を活かしたまちづくりが一体的に進められており、これまでに水辺プラザなど親水空間の整備が行われ、市街地内の水辺拠点として親しまれてきた。

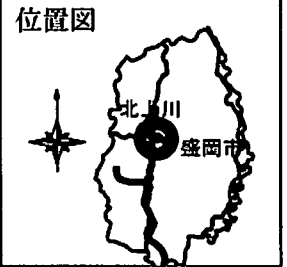
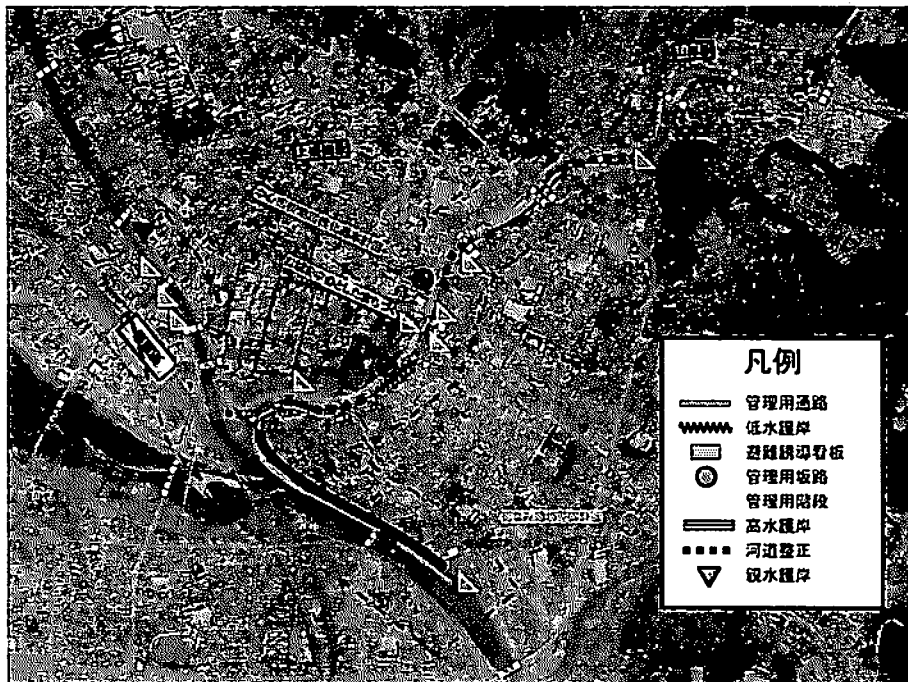
本計画では、国土交通省が河川管理用通路・階段、親水護岸の整備や河道の整正等を行うとともに、盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺や北上川沿いの歴史的街なみ整備等を行うことにより、良好な水辺空間を創出し、地域の活性化を推進する。

## 2. 整備内容

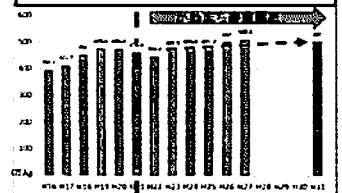
- ・管理用通路
- ・避難誘導看板
- ・管理用階段
- ・河道整正
- 事業実施期間：H20～H37
- (整備期間：H21～H32)

### 【事業工程】

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
事業主体：盛岡市 (拠点施設、周辺整備)	事業実施																		
事業主体：国土交通省 (拠点空間、散策路等)	設計	監役																	
																			モニタリング



盛岡市の年間入込客数の推移と目標



盛岡駅前1に整備されたオープンスペースでの目撃



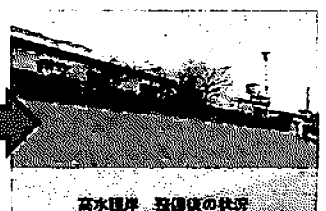
盛岡市が整備したピクトリアロード



整備された管理用通路(坂からハイキング)



低水護岸 整備後の状況



高水護岸 整備後の状況

## 盛岡市公共下水道事業の推進について

本市では、人口密集地域については、生活環境整備事業として位置づけ、生活環境の改善のため未普及対策事業を進捗しております。

また、浸水対策事業については、災害の発生防止や甚大な災害の未然防止の観点から幹線整備及び面整備を進めております。

早期整備要望も多く、公共下水道を継続して推進させる必要がありますが、地方財政は一段と厳しい状況で、さらに、耐用年数を超過している下水道施設の更新の課題も抱えており、耐震化も含めた改築更新の必要性が高まっている状況にあります。

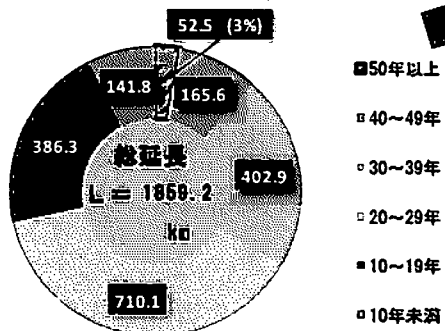
特にも、改築更新には多額の費用が必要とされます。下水道施設の改築更新への事業費支援がなくなった場合、人口減少が本格化する中、下水道使用料の大幅な引き上げについて理解が得られなく、施設の改築更新が進められなくなることが想定され、下水道の老朽化による道路陥没や下水処理の機能停止等により住民生活に重大な影響が及ぶおそれがあります。

つきましては、下水道の公共的役割に対する観点から下水道施設の改築更新事業への継続的な事業費支援について要望いたします。



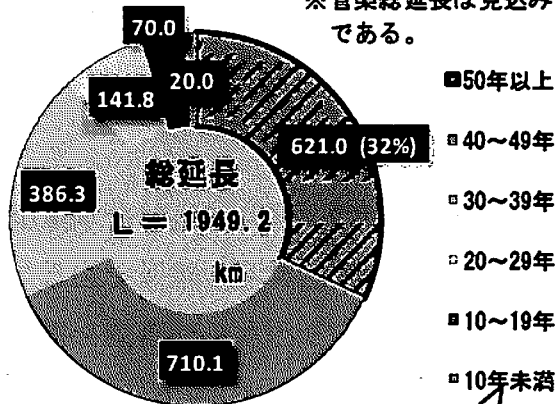
# 盛岡市の下水道事業について

H28年度末経過年数別延長 (km)



H48年度末経過年数別延長 (km)

※管渠総延長は見込み値である。



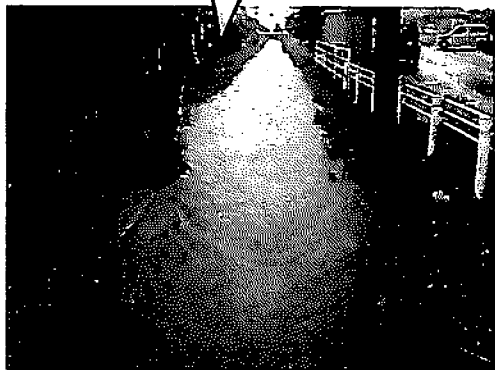
市街地での浸水対策が至急の課題となっております。ハード整備とソフト対策を連動した事業の推進を図る必要があります。

50年経過管路が、年々増え続けています。ストックマネジメント事業の推進が緊急課題となっております。

中心市街地の合流地域で被害が想定される

平成25年8月

大雨状況



北上川右岸第二排水区

鶴助堰排水区

北上川右岸第三排水区

このほか、盛岡市では、未普及対策事業の推進や地震対策事業の推進に努めてまいります。

## 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進 について

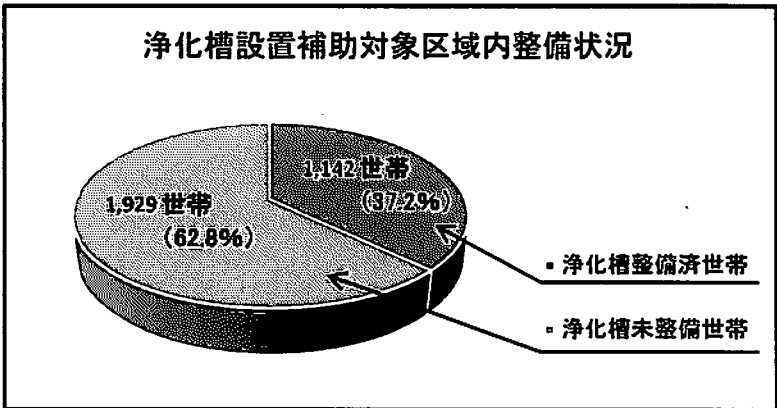
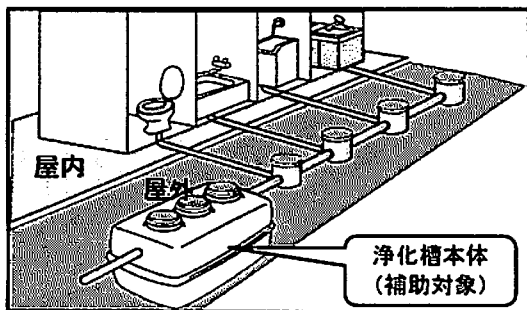
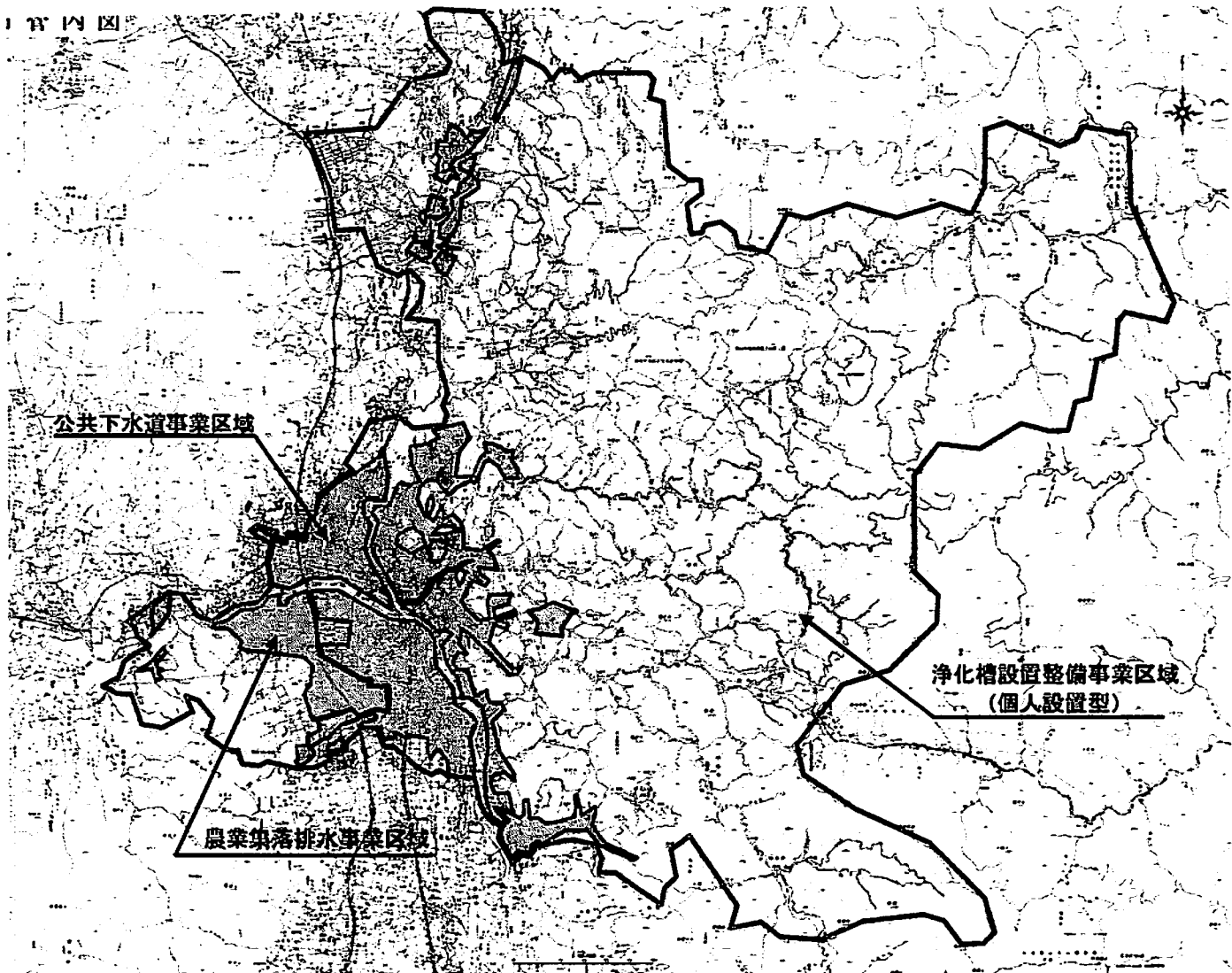
盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、平成37年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。

浄化槽による整備区域については、行政区域面積約88,647ヘクタールの約9割を占めており、人口集積が低い地域であります。平成28年度末時点で当該整備区域内人口のうち約37%の整備率に留まっておりますことから、より一層の整備促進が必要となっております。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、引き続き浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算を確保していただきたく要望いたします。

# 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備区域図



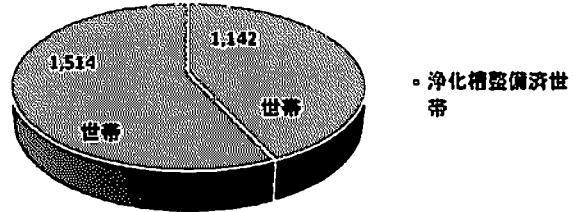
※ 世帯当たり人員は3.4人/世帯として算出。

平成28年度末

区域	区域内人口	浄化槽人口	区域内世帯	浄化槽整備済世帯	浄化槽未整備世帯	浄化槽世帯割合
全体計画区域(処理区域・事業計画区域を除く)	7,371	5,961	2,168	1,753	415	80.9%
浄化槽整備区域	9,030	3,882	2,656	1,142	1,514	43.0%
計	16,401	9,843	4,824	2,895	1,929	60.0%

市街化調整区域内の世帯当たり人口 3.40  
(都市計画基礎調査:H22国勢調査ベース)

### 浄化槽整備区域における整備率

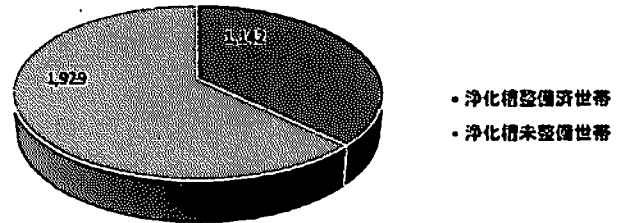


平成28年度末

区域	区域内人口	浄化槽人口	区域内世帯	浄化槽整備済世帯	浄化槽未整備世帯	浄化槽世帯割合
全体計画区域(処理区域・事業計画区域を除く)	7,371	5,961	2,168	1,753	415	80.9%
浄化槽整備区域	9,030	3,882	2,656	1,142	1,514	43.0%
計	16,401	9,843	4,824	2,895	1,929	60.0%
浄化槽補助対象区域			3,071	1,142	1,929	37.2%

市街化調整区域内の世帯当たり人口 3.40  
(都市計画基礎調査:H22国勢調査ベース)

### 浄化槽設置補助対象区域内整備状況



もりおかじょうあと  
国指定史跡盛岡城跡保存整備事業及び国指定史跡  
し わ じょうあと  
志波城跡保存整備事業の推進について

史跡盛岡城跡につきましては、都心の魅力を高め、中心市街地の活性化を図る重要な位置付けにあり、史跡整備によるまちづくりの推進が必要となっております。盛岡市のシンボルとして、市民はもとより本市を訪れる多くの方に親しまれており、その保存整備に鋭意努力しているところでありますが、史跡の主要部分である石垣に著しい損傷の箇所があり、抜本的な解体修復工事が必要とされ、昭和59年度から国庫補助事業として修理工事を進めてまいりました。

また、平成23年度には「史跡盛岡城跡保存管理計画」、平成24年度に「史跡盛岡城跡整備基本計画」、さらに平成28年度に「史跡盛岡城跡植栽管理基本計画」を策定しながら、石垣変位量の測定などの各種調査と研究を行ってまいりました。

この間、史跡の適正な保存管理及び活用事業が順調に推移しておりますことに対しまして深く感謝申し上げるものでございます。

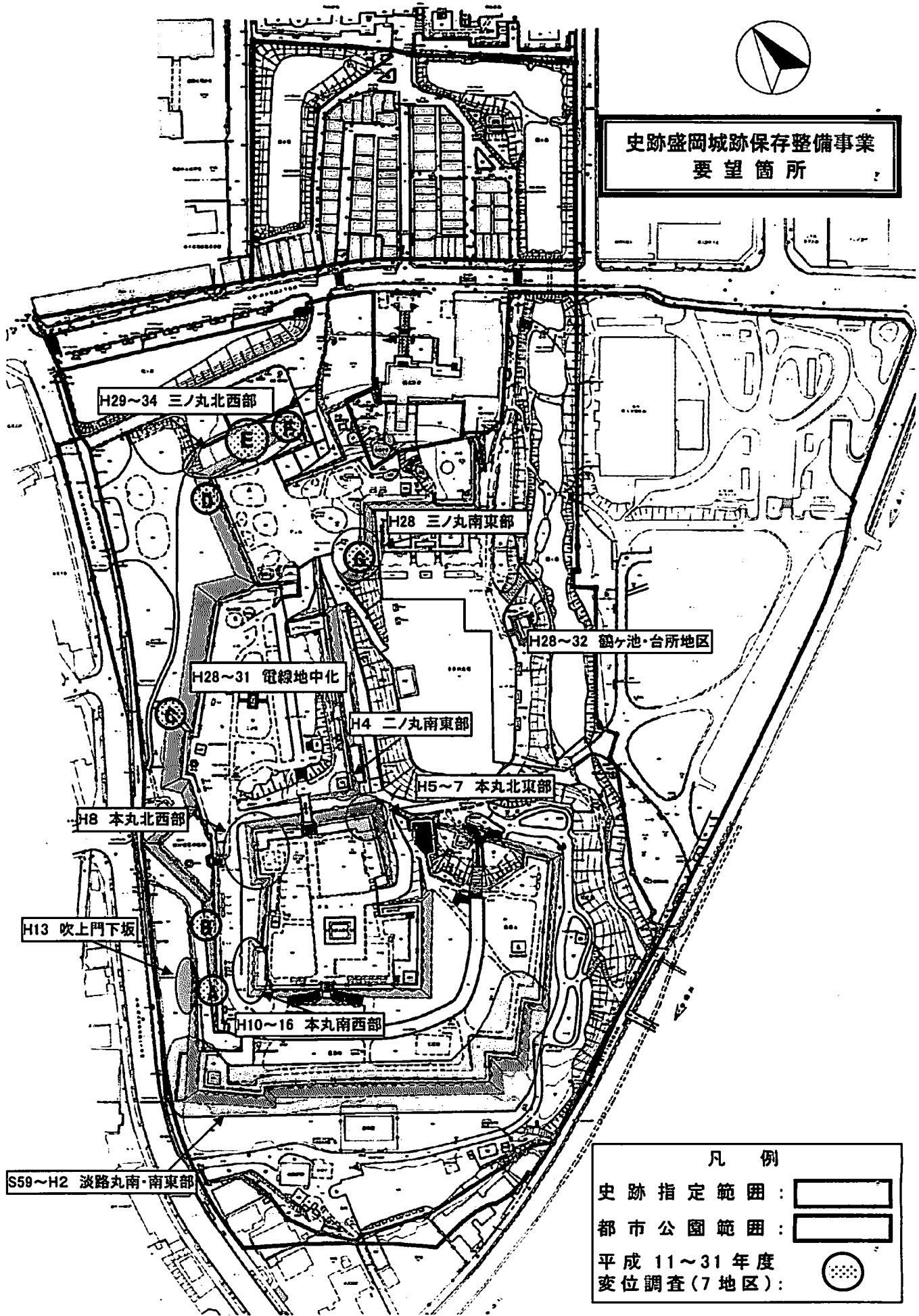
今後も石垣修復事業を中心としながら、国史跡の近世城郭を理解し、歴史公園として親しむことができるような環境の整備を図ってまいります。

史跡志波城跡については、用地取得事業を継続し史跡の保護に今後とも努めてまいります。また、史跡の有効活用を図るために、平成9年から志波城古代公園として開放しておりますが、東北の古代史を語るうえで欠かせない拠点史跡として、更なる整備の推進を市民も期待しております。

つきましては、国指定史跡盛岡城跡及び国指定史跡志波城跡の保存整備事業推進に係る国庫補助金の交付について要望いたします。



史跡盛岡城跡保存整備事業  
要望箇所



史跡盛岡城跡保存整備事業 事業計画図 (1:2,000)

## 防衛施設周辺整備事業（民生安定施設整備事業）による 防災行政無線の整備推進について

平成 29 年度に要望いたしました防衛施設周辺整備事業による防災行政無線の整備につきましては、この度補助金交付の決定をいただき厚く御礼申し上げます。

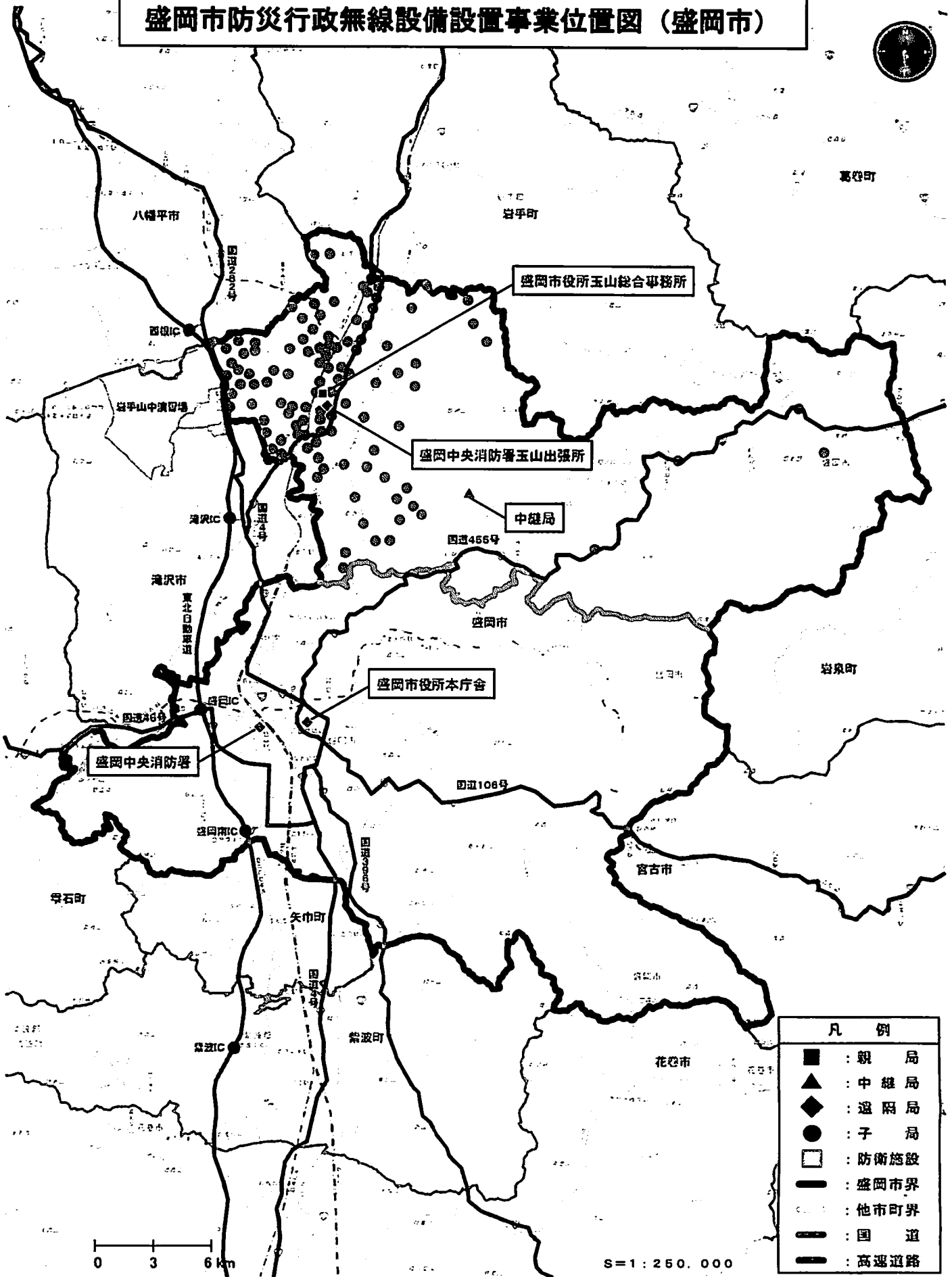
さて、防衛施設周辺の自治体は、我が国の防衛基盤である基地の存続を支援し、その安定的使用を確保するため、基地周辺住民の理解と協力を得る努力を傾注しております。本市玉山地域は、陸上自衛隊岩手駐屯地、同岩手山中演習場に隣接しており、当演習場では、各種火器及び戦車の実射等、実戦を想定した演習が展開され、過去には日米共同訓練も実施されるなど、内容によっては周辺住民の大きな不安要素となりうる状況も想定されます。演習場が地域との共存を図っていくためには、引き続き、防衛施設の周辺整備を行うなど、民生安定化対策を講ずる必要がありますが、周辺住民が受ける影響を防止し、軽減するための対策として多くの財政需要が生じております。

本市玉山地域の防災行政無線は、平成元年から平成 5 年にかけて民生安定施設整備事業により配備、平成 6 年には単費で子局を追加配備し、周辺住民に対する演習内容等の周知のほか、災害時における避難勧告など緊急情報の伝達や各種の行政情報の広報のための媒体としても広く活用するなど、地域の民生安定化や安心・安全などのための対策を講じてきたところであります。

しかしながら、既設の防災行政無線については、老朽化により住民への情報提供等に支障が生じており、併せて、平成 34 年 11 月を期限とするデジタル化への切替えが必要となっております。

つきましては、この設備更新にあたり、平成 31 年度におきましても、引き続き防災行政無線の更新・デジタル化整備推進について、御配慮いただきたく要望いたします。

# 盛岡市防災行政無線設備設置事業位置図（盛岡市）



凡 例	
■	: 親 局
▲	: 中 継 局
◆	: 遠 隔 局
●	: 子 局
□	: 防衛施設
—	: 盛岡市界
---	: 他市町界
—	: 国 道
—	: 高速道路



# 県予算に対する統一要望事項

## スポーツ推進施策の充実強化について

岩手県におけるスポーツ推進施策は、平成 29 年度、知事部局に文化スポーツ部を新設し、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等に備えるとともに文化・スポーツを核とした諸施策を観光振興施策等と連携しながら効果的、戦略的に展開するための文化・スポーツ振興戦略を策定されるなど、今後の施策展開に大いに期待しているところです。

また、平成 29 年度にスポーツライミング競技の 1 つであるスピード競技施設を整備していただき、本市におきましても日本代表としてワールドカップに出場する選手が誕生するなど、今後、競技力の向上、競技人口の拡大が期待される所であり、岩手県当局の取組に感謝申し上げる次第であります。

本市におきましても、成功裏に終えた「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の遺産を後世に継承するため、スポーツツーリズムの推進に向け、カナダを相手国とするホストタウン交流事業やRWC2019 公認チームキャンプ地として万全の体制を整え、盛岡広域スポーツコミッションの運営によるスポーツを通じた交流促進に取り組んでいるところです。

つきましては、引き続き東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の感動を県民・市民が共有し、地域の活性化に大きな貢献ができるスポーツ施策のさらなる推進を図るため、次のとおり要望いたします。

### 記

- 1 希望郷いわて国体のレガシー（遺産）を後世に引き継ぐため、県内競技団体の強化費用の更なる充実と支援を継続していただきたいこと。
- 2 県営施設の整備計画について早急に策定していただきたいこと。
- 3 つなぎスイミングセンター跡地について、隣接する盛岡市つなぎ多目的運動場との相乗効果が期待できる活用を検討していただきたいこと。
- 4 Jリーグスタジアムの要件変更に伴う整備について、全面的な支援をいただきたいこと。

## 水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について

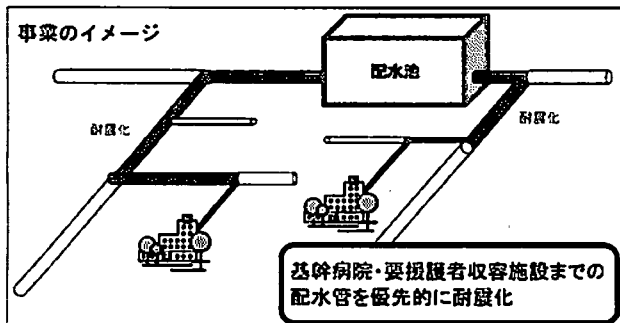
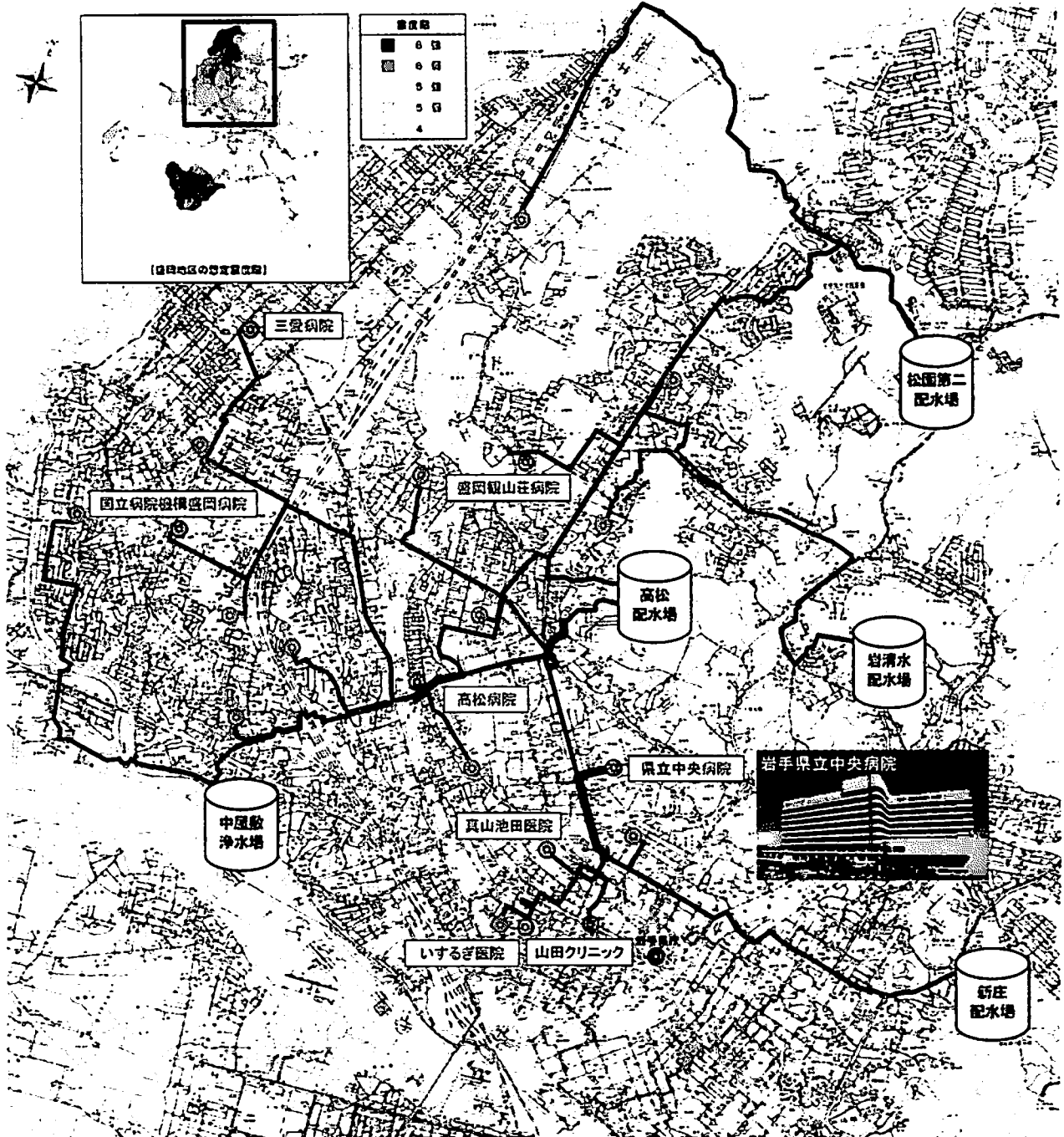
水道は市民生活や産業活動を支える極めて重要な基盤施設であり、大規模地震等による災害が発生した場合においても、水道事業者には飲料水等生活に必要な水を供給することが強く求められています。

また、高度経済成長期前後に整備された水道施設の老朽化が進んでおり、計画的な施設更新が必要となっています。こうしたことから、当市においては、老朽施設の更新、基幹病院や要援護者収容施設までの配水管の耐震化を重要給水施設配水管整備事業として重点的に進めております。その財源については、「水道施設耐震化等推進事業費補助金(交付金)」を活用することにより、施設整備を推進しているところですが、必要な財源確保は大きな課題となっています。

一方で、「水道施設耐震化等推進事業費補助金(交付金)」による老朽管更新事業においては、配水管更新に伴う給水管の繋ぎ替えや消火栓設置、硬質ポリ塩化ビニル管は補助対象外となっている状況です。

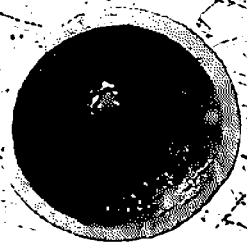
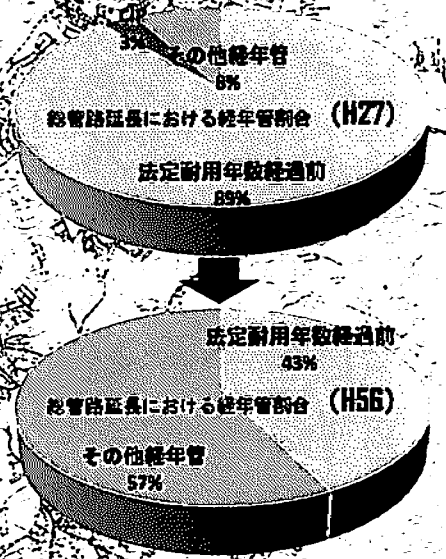
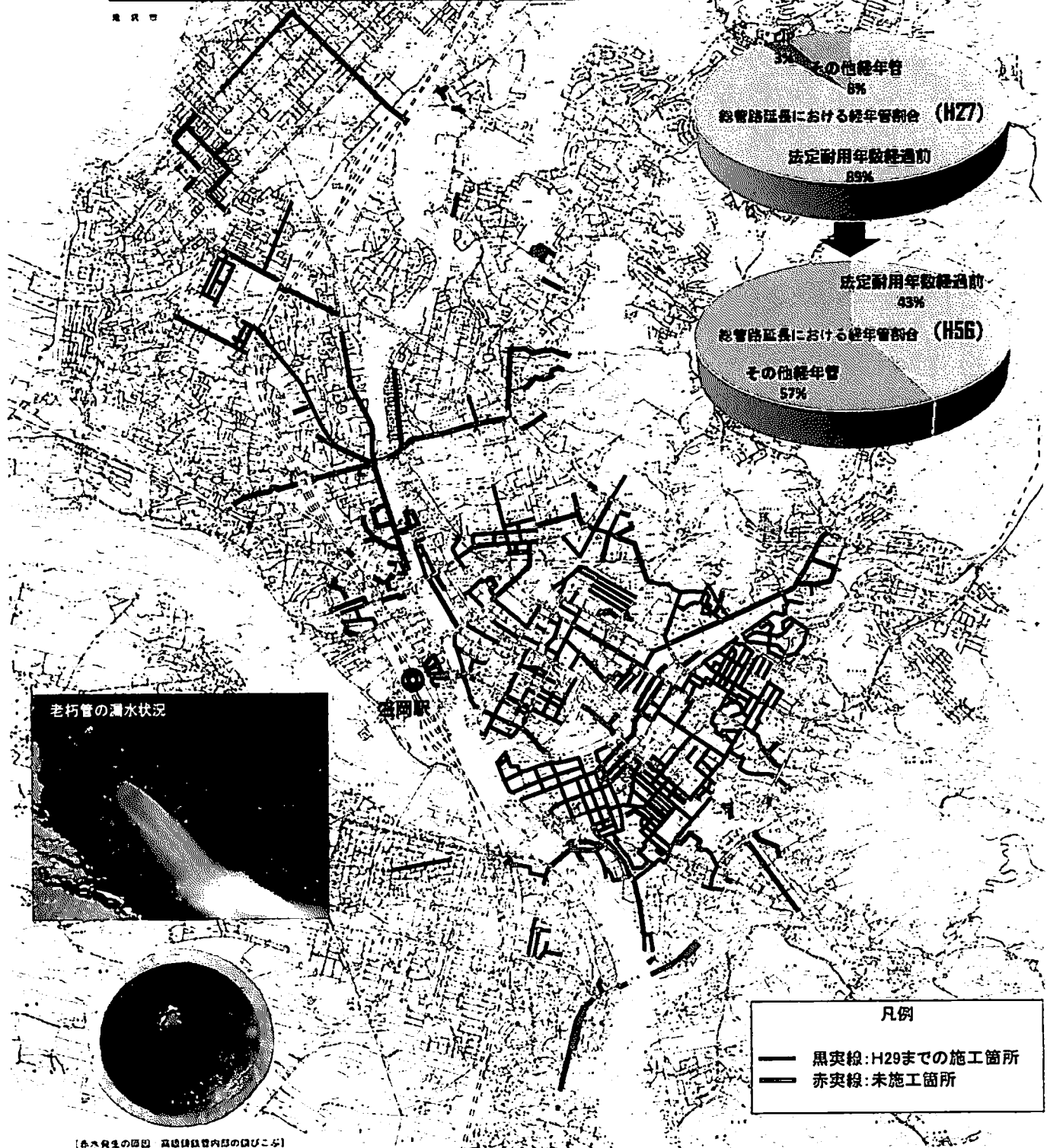
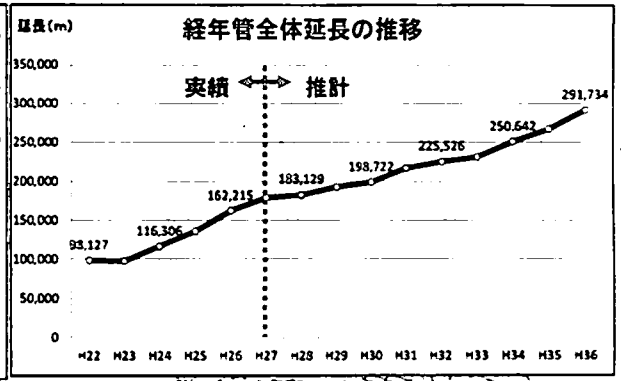
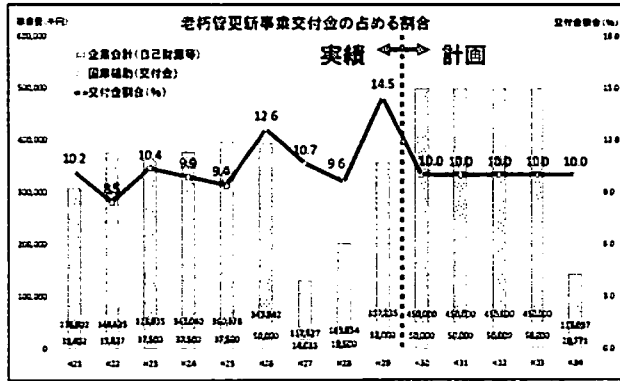
つきましては、その補助制度の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、生活基盤施設耐震化等交付金の予算確保と補助対象工種の拡大について、国に働きかけていただくとともに、水道施設耐震化等推進事業費補助金の予算確保と要望額通りの補助を要望いたします。

## 重要給水施設配水管整備事業計画図



- 凡 例**
- 黒実線：H29までの施工済み及び既有施設
  - 赤実線：未施工分（補助）
  - ◎：基幹病院
  - ⊙：要介護者収容施設

# 老朽管更新事業計画図



凡例

- 黒実線: H29までの施工箇所
- 赤実線: 未施工箇所

## 社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について

盛岡市では、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、<sup>なたやちよう</sup> 鉾屋町をはじめとする歴史的街並みを活用した地域の活性化や、時代の変化に合わせた新たな手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備、「もりおか交通戦略」による都市活動を支える交通を中心とした交通環境の構築などの各種施策のほか、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

このような状況の下、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる一括交付金であり、本市においては、連携中枢都市圏の交通ネットワークの構築や円滑な都市活動及び安全な交通の確保をはじめ、インフラの長寿命化計画を踏まえた老朽化対策、通学路の歩道空間の確保や踏切道の拡幅等による安全対策、無電柱化による歴史的町並み等の景観形成、河川整備や下水道整備による市街地の浸水対策や健全な水環境・良好な水循環の創出、公園整備による都市の防災性の向上・良好な都市環境の提供など住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上に大きく寄与しております。整備によるストック効果としては、ここ数年本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワークの構築による経済活動における生産性の向上や観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

つきましては、本交付金の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、事業費の確保について要望いたします。

## 一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について

一般国道106号は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約100Kmの路線であり、一般国道46号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸を形成し、岩手県の産業・経済・文化の交流や観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に寄与する重要路線であり、特にも、宮古盛岡横断道路は、宮古市を中心とした三陸沿岸地区と盛岡都市圏との強力な連携を促進することにより、産業経済の活性化とあわせて、三陸沿岸地区の早期復興を支援する道路でもあります。平成30年6月22日には、宮古一室蘭フェリーの運行開始が決定されており、北海道と東北、首都圏間の交流・物流の活発化により、東北の復興を強く後押しし、港湾と道路のストック効果の発現が期待されています。

こうしたなか、国におきましては、平成24年度から、新たに宮古～箱石間、平津戸・岩井～松草間、区界～築川間の3工区48Kmが本格的に事業着手され、平成25年3月には、「築川道路」が供用開始されたところであり、平成28年3月には「都南川目道路」の川目IC～田の沢IC間の供用開始、また、平成29年5月には「都南川目道路」の手代森トンネルが貫通するなど、平成31年度の開通に向けて、着実に事業に取り組んでいただいております。

この中において、一般国道106号「都南川目道路」は、東北縦貫自動車道とのアクセスの強化、盛岡市中心部へのアクセス向上や、高次医療施設への救急搬送を担う重要な区間ともなっております。

つきましては、広大な面積を有する岩手県において、災害に強い県土を構築し、豊かな地域資源を活かした地域づくりの実現と、「ひと・まち・未来が輝き世界につながる盛岡」の実現のために、一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について国に働きかけていただきたく要望いたします。

## 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について

宮古盛岡横断道路（一般国道 106 号）は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市と県都盛岡市を結ぶ延長約 66 km の路線であり、東日本大震災の際には、緊急輸送道路の「くしの歯作戦」の一路線として、迅速な救助活動、救援物資の搬送ルートとして利用され、現在「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」として、国の権限代行により整備にご尽力いただいているところです。

本路線は、宮古・盛岡間の移動時間が短縮され、物流の効率化促進による地域産業の活性化や周遊観光圏域の拡大による経済効果のほか、沿岸部から内陸部の高次医療施設への救急搬送や医療活動の安定性・迅速性の確保など、「ストック効果」の発揮が大いに見込める路線であります。

また、平成 30 年 6 月 22 日には、宮古―室蘭フェリーの運行開始も決定されており、港湾と道路の整備によって、今後一層の交流・物流の活発化が期待されているところであります。

一方、本路線は、交通事故等による通行止めが多数発生し、近隣に迂回路もないことから、その安全性や信頼性に大きな課題を抱えております。また、平成 28 年 8 月の台風第 10 号の影響により、11 日間の通行止めが発生するなど、災害に対する脆弱性の解消が急務となっております。

北上高地特有の急峻な地形のため、トンネルや高架橋による整備により、高度な維持管理に関する技術が必要とされます。また、全区間延長の約 40% を超える区間が新設基幹であり、新設区間の現道における既存集落については、生活道路としての機能確保、バス路線維持等の自治体としての新たな役割が必要と見込まれており、国と地方自治体の役割分担による適切な管理が望まれます。

つきましては、東日本大震災からの早期復興に向け、安全で信頼性の高い高規格道路として、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、三陸沿岸地区と内陸との強力な連携により北東北地域の産業・経済・文化の交流、豊かな地域資源を活かした観光誘客等の促進を図るとともに、国と地方自治体の役割分担による適切な維持管理が図られるよう、次のことを要望いたします。



## 記

- 1 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進と全線高規格化を図ること。
- 2 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」については、国が直轄で管理すること。

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進及び一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路の一部の機能を担う重要な路線であり、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ地域連携軸を形成する重要な路線となっております。

復興支援道路として整備が進められている宮古盛岡横断道路「都南川目道路」については、平成31年度供用の目標宣言がされており、主要地方道上米内湯沢線を経由した東西の広域連携を強化するものと期待しております。

一般国道46号「盛岡西バイパス」の南端と接している主要地方道上米内湯沢線の沿線は、盛岡流通センターや盛岡市中央卸売市場、JR盛岡貨物ターミナル等、物流施設が立地し、また、一般国道4号や一般国道46号「盛岡西バイパス」、並びに東北縦貫自動車道盛岡南IC、宮古盛岡横断道路「都南川目道路」が接続していることから、交通が集中し、一般国道4号や上米内湯沢線、その周辺道路に慢性的な渋滞が発生しております。

更に、一般国道4号「盛岡南道路」沿線では、プロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場整備構想があり、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

本市においては、人口減少や少子高齢化に対応した持続可能な都市圏域を形成する中心都市として、医療等の高次都市機能の集積強化を推進し、「コンパクト&ネットワーク」の形成を図っていく必要があります。

特にも、盛岡広域圏では、救急医療の中核を担う岩手医科大学付属病院（平成31年9月開院予定）を中心とした医療体系の構築が大きな課題であり、この医療体系を効率的に機能させるため、一般国道をはじめとする主要幹線道路等のネットワーク形成が重要となっております。

つきましては、盛岡市を中心とした連携中枢都市圏の圏域人口の維持、持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化を図るとともに、渋滞のない効率的な都市圏道路ネットワークの形成のため、一般国道46号「盛岡西バイパ

ス」の4車線化の整備促進及び、一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について国に働きかけていただきたく強く要望いたします。

## 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るためには、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。

滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川、中津川及び雫石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、このほど制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進に加え、道路インフラの老朽化対策として、予算の安定的な確保及び人材育成のための研修制度等の充実について要望いたします。

### 1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路線名	要望地区	工種
継続	津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	永井地区	道路改築
〃	谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	厨川地区	〃
〃	岩手公園開運橋線	菜園地区	交通安全

〃	<small>ひがしなかのかど</small> 東中野門線	東中野地区	〃
〃	<small>みなみおおほしめいじぼし</small> 南大橋明治橋線	<small>ななやちよう</small> 鉦屋町地区	〃
〃	<small>いわていおかえきとうざいじゆうつうろ</small> 岩手飯岡駅東西自由通路	<small>ながい</small> 永井地区	〃

- 2 道路インフラの老朽化対策として、予算の安定的な確保、補助制度の拡充、人材育成のための研修制度等を要望する。

## 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について

一般国道4号渋民バイパスは、盛岡市<sup>しぶたみ</sup>渋民<sup>おおまえだ</sup>字大前田から<sup>たまやま</sup>玉山馬場<sup>ぼ</sup>字川原<sup>かわはら</sup>に至る約5.6kmのバイパスであり、暫定2車線として整備が進められ、平成16年12月には渋民字大前田からの約2.5kmの区間が開通し、平成27年4月に玉山馬場字川原に至る全線が開通されております。

これにより、旧玉山村の市街地を通過する旧国道4号の交通量は半減し、特に、大型車車輛の激減により、通学路の安全性が確保されるなど、地域の安全で安心な道路環境が確保されました。

道の駅構想については、平成6年頃から検討され、平成7年には一部用地を確保していたものでありますが、平成27年4月に国道4号渋民バイパスが全線供用されたことを受け、盛岡市として初の道の駅の整備に向け、市の各部局をあげて整備方針の具体的な検討を始め、平成28年度には基本計画の作成に着手し、地域住民や関係団体の協力のもと計画策定を進めており、平成29年度には地域住民との懇談会や、先進道の駅の利用者ニーズ調査、事業用地関係整理などを実施し、導入機能・整備規模・整備手法等の検討を行いながら基本計画案の作成を進めております。

本市の目指す道の駅は、姫神山や岩手山の眺望をいかしながら、石川啄木記念館や旧尋常小学校の建築物など、啄木ゆかりの施設との連携により、啄木が愛した原風景や過ごした時間を感じていただける施設であるとともに、渋民バイパス利用者の休憩場所・道路情報等の提供場所として、道路利用者や地域住民の交通安全の確保と利便性向上を図るほか、地域産業である、付加価値のある農畜産物の販売や素材を生かした食をテーマとする地域振興の拠点施設となり、また、啄木を愛する地域住民や子ども達の集いの場となる施設であります。

つきましては、渋民バイパスの全線開通を契機に、地域資源を活用した地域再生を図るため、早期の整備が必要となっている状況にありますことから、当該道の駅整備の着実な推進について国に働きかけていただきたく要望いたします。

## 都市局所管盛岡市街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共輸送機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

つきましては、都市局所管盛岡市街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

区 分	路 線 名	要望地区	工 種
継続	<small>もりおか・えきみなみおおどおり</small> 盛岡駅南大通線	<small>おおさかわら</small> 大沢川原地区	道路改築
〃	<small>あいちげし</small> 明治橋大沢川原線	<small>おおどおり</small> 大通地区外	〃

## 盛岡市内の県道の整備促進について

盛岡市は、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療などの高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤施設の効率的な整備に鋭意努力しているところであります。

しかしながら、新市街地の形成や周辺町村の市街地拡大に伴う本市への交通需要の増加等により、随所で恒常的な交通混雑が発生するなど、市民生活はもとより経済活動にも影響を及ぼしており、円滑な交通の確保を図るため、幹線道路の整備が急務となっております。

特に、こうした幹線道路の整備は、中心市街地と周辺部を結ぶ安心・安全なネットワークを強化し高次の都市活動を支え、地域づくりや広域経済に大きな波及効果をもたらし、関係住民も大きく期待するところであります。

また、玉山地域の一般県道<sup>しぶたみかわまた</sup>渋民川又線・主要地方道盛岡環状線<sup>もりおかかんじょう</sup>及び一般県道<sup>しぶ</sup>渋民田頭線<sup>たみでんとう</sup>・好摩停車場線<sup>こうまていしゃば</sup>の未整備区間につきまして、歩道設置いただき、連続した安全な歩行空間を確保いただきますとともに、一般県道渋民川又線にある急カーブヶ所の解消につきましても併せて要望いたします。

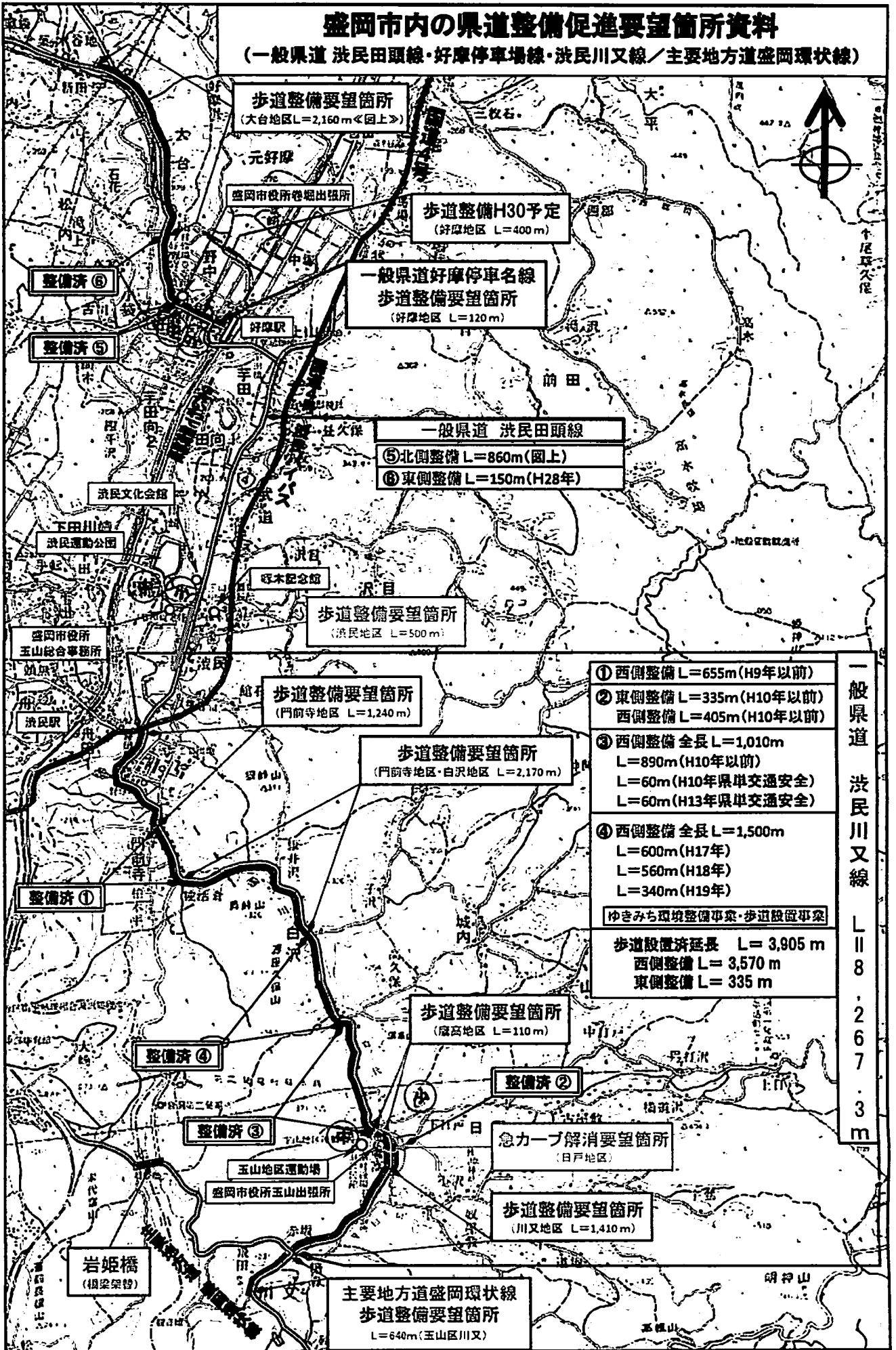
つきましては、次の県道の整備促進について要望いたします。

区分	路線名	要望地区
継続	一般県道 <sup>おおがゆうとくた</sup> 大ヶ生徳田線	徳田橋
〃	一般県道渋民川又線・主要地方道盛岡環状線	<sup>もんぜんじ</sup> 門前寺地区、 <sup>しらさわ</sup> 白沢地区、 <sup>たかこう</sup> 鷹高地区、川又地区
〃	一般県道渋民田頭線・好摩停車場線	渋民地区、好摩地区、 <sup>おおだい</sup> 大台地区
〃	都市計画道路 <sup>むかいなかのあべたて</sup> 向中野安倍館線	<sup>ぜんくねん</sup> 前九年二丁目から <sup>かみどう</sup> 上堂一丁目地区
〃	都市計画道路盛岡駅 <sup>もとみや</sup> 本宮線	<sup>もり</sup> 杜の <sup>おおはし</sup> 大橋
	主要地方道盛岡環状線	<sup>いわひめばし</sup> 岩姫橋
新規	一般県道渋民川又線	日戸地区



# 盛岡市内の県道整備促進要望箇所資料

(一般県道 洗民田頭線・好摩停車場線・洗民川又線 / 主要地方道盛岡環状線)



① 西側整備 L=655m(H9年以前)
② 東側整備 L=335m(H10年以前) 西側整備 L=405m(H10年以前)
③ 西側整備 全長 L=1,010m L=890m(H10年以前) L=60m(H10年県単交通安全) L=60m(H13年県単交通安全)
④ 西側整備 全長 L=1,500m L=600m(H17年) L=560m(H18年) L=340m(H19年)
ゆきみち環境整備事業・歩道設置事業
歩道設置済延長 L= 3,905 m 西側整備 L= 3,570 m 東側整備 L= 335 m

一般県道 洗民川又線 L 118.267.3 m

## 岩手県管理河川改修事業の促進について

盛岡市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川<sup>きたかみがわ</sup>北上川水系<sup>とくまがわ</sup>木賊川では、平成14年7月の台風により115戸の床上・床下浸水被害、平成19年9月の大雨では避難勧告の発令、また、一級河川北上川及び一級河川<sup>まつかわ</sup>松川においては、平成25年9月に発生した台風により、86戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じており、住民に大きな不安を与えております。

また、被害にあった<sup>たまやま</sup>玉山地域においては、早期の抜本的河川改修が求められております。

つきましては、岩手県により進められております、この3河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、事業の促進について要望いたします。

## 都市基盤河川改修事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系南川<sup>みなみかわ</sup>は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明地区<sup>どうみょう</sup>土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、産業等用地整備事業（道明地区）においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取組むことが必要不可欠であります。

つきましては、都市基盤河川改修事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

## 築川ダム建設事業の促進について

築川ダム建設事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。

一級河川築川流域の洪水氾濫危険区域には、約 6,300 人が生活しており、平成 14 年 7 月の台風 6 号の洪水では堤防の一部が崩落するなど、浸水被害が懸念され、住民に大きな不安を与えております。

近年、全国的に集中豪雨や局所的な大雨が増大するなか、平成 25 年 8 月 9 日に発生した低気圧による大規模な出水では、御所ダム及び四十四田ダムにおいて洪水調節等の連携により河川の水位低減を図り、洪水被害の防止に大きな役割を果たしました。

築川ダムは市民の安全安心な生活を確保するための洪水防御の役割のほか、水道水の確保や河川環境の保全、水力発電による二酸化炭素の軽減など多くの役割を担っていることから、早期完成が期待されております。

つきましては、築川ダム建設事業の促進について要望いたします。

## 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

がけ崩れを含めた土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業が着実に実施されておりますことは、岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震やその後の余震により、土砂災害危険箇所の地盤が広範囲に緩み、大雨や地震による土砂災害の発生が懸念されております。

特にも、「安倍館地区」では、要望箇所に加え、隣接する箇所においてがけ崩れが発生するなど、予断を許さない状況となっており、平成 25 年 8 月に発生した大雨・洪水により、<sup>つなぎ</sup> 繫地区の急傾斜地の一部斜面が崩落するなど、地域住民の安全確保が必要となっております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業の「安倍館地区」、「桜山（その 3）地区」の新規事業化、及び「山岸一丁目地区」、「<sup>やまぎし</sup> 下米内二丁目地区」、「<sup>しもよない</sup> 繫地区」の事業促進について要望いたします。

## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

土地区画整理事業は、盛岡市のまちづくりに大きな役割を果たしてきたものの、少子高齢化・人口減少社会の進展や事業費確保、保留地等の土地処分価格の下落、事業の長期化などにより、狹隘道路や上下水道未整備区域の解消といった生活環境の改善が進まない状況にあることから、事業計画の見直しが必要となりました。

このような状況を改善するため、<sup>どうみょう</sup>道明地区及び<sup>となんちゅうおうだいさん</sup>都南中央第三地区では事業区域の縮小を含む大幅な見直しを平成 27 年度に実施しており、<sup>おおた</sup>太田地区では平成 29 年度に事業計画変更を行い事業費や事業期間の見直しを行いました。

しかしながら、土地区画整理事業については事業区域の縮小等により事業費を削減してもなお多額の事業費が見込まれることから、財源を確保して一層の事業推進を図る必要があります。

また、土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域においては、道路整備を中心として土地区画整理事業と合わせた地区全体の生活環境改善の早期効果発現を行うべく、事業推進を図る必要があります。

つきましては、盛岡市の土地区画整理事業の推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、引き続き国に働きかけていただきたく要望いたします。

地区名	<sup>おおた</sup> 太田	<sup>どうみょう</sup> 道明	<sup>となんちゅうおうだいさん</sup> 都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～H36 (清算H41)	H15～H35 (清算H40)	H12～H34 (清算H39)
総事業費 (百万円)	区画整理 31,300	区画整理 5,620 区画整理外 2,863 計 8,483	区画整理 8,140 区画整理外 363 計 8,503
今後の見通し	～H36 まで (6年)	～H35 まで (5年)	～H34 まで (4年)
残事業費 (百万円)	区画整理 9,383	区画整理 2,140 区画整理外 2,467 計 4,607	区画整理 2,585 区画整理外 274 計 2,859

※上表「区画整理外」は、「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」

## 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進 について

盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、平成37年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。

浄化槽による整備区域については、行政区域面積約88,647ヘクタールの約9割を占めており、人口集積が低い地域であります。平成28年度末時点で当該整備区域内人口のうち約37%の整備率に留まっておりますことから、より一層の整備促進が必要となっております。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算確保について国に働きかけていただくとともに、当該交付金と同額の浄化槽設置整備事業費補助金の予算確保について要望いたします。

# 平成 30 年度 国・県予算要望成果

(平成 30 年 5 月 15 日現在)



## 平成 30 年度国予算要望成果

注：件名欄に（国，県）とあるのは，国及び県の両方に要望した項目です。

No.	件 名	要 望 成 果			
		要望計画名	要望額	配分額	配分額 ／ 要望額
1	社会資本整備 総合交付金及 び防災・安全交 付金に係る事 業の推進につ いて (国，県)	(単位：千円)			
		北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心して通行できる道づくり	190,200	151,584	79.7%
		もりおか交通戦略の推進	303,150	253,572	83.6%
		賑わいのある市街地の基盤づくり	1,138,500	564,868	49.6%
		岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした都市基盤づくり	146,500	77,620	53.0%
		岩手県における快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現（重点計画）	279,570	262,986	94.1%
		緑が文化になるまち'盛岡'の形成	75,833	43,000	56.7%
		第2期 岩手県地域における住宅セーフティネットの構築と住環境の整備（地域住宅計画）	554,492	376,138	67.8%
		岩手県地域住宅等整備計画（地域住宅計画）（重点計画）	342,422	273,563	79.9%
		北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心して通行できる道づくり（防災・安全）	550,116	269,978	49.1%
		第2期 いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理（防災・安全）	2,250	1,650	73.3%
		いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理（防災・安全）（総合流域防災事業）	17,000	17,000	100.0%
		いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理（防災・安全）（都市基盤河川改修事業）	145,000	145,000	100.0%
		いわての橋梁の適確な老朽化対策の推進（防災・安全）	164,960	139,291	84.4%
		いわての通学路等の安全・安心の確保（防災・安全）	568,090	544,626	95.9%
		良好な生活環境と健全な下水道の創出（防災・安全）	13,500	13,500	100.0%
		岩手県における浸水不安のない街の実現（防災・安全）（重点計画）	334,600	332,365	99.3%
盛岡市における安心して安全な都市公園づくり（防災・安全）	83,166	57,840	69.5%		

No.	件名	要望成果			
		岩手県地域住宅等整備計画(重点計画)(防災・安全)	24,382	24,343	99.8%
		第2期 岩手県安全で安心できるすまいづくり・まちづくり	303,811	228,502	75.2%
		合計	5,237,542	3,777,426	72.1%
2	一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について (国, 県)	<p>本路線は、築川道路側の川目IC～田の沢IC間が平成28年3月に供用開始された。平成29年5月には、手代森トンネルが貫通した。</p> <p>平成30年度事業予定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 約20億円</li> <li>・事業予定内容 調査推進：道路設計 用地買収推進, 支障移転補償 工事推進：付替市道橋梁上部工, 改良工, 舗装工, 道路付属物工</li> <li>・用地進捗率 約99% (H30年3月)</li> <li>・事業進捗率 約84% (H30年3月)</li> </ul>			
3	一般国道106号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進及び直轄指定区間編入について (国, 県)	<p>平成30年度事業予定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 開通必要額 64.65億円</li> <li>・事業予定内容 調査推進：道路設計, 支障移転補償 工事推進：トンネル工, 橋梁工, 改良工</li> <li>・用地進捗率 約99% (H30年3月)</li> <li>・事業進捗率 約61% ( " )</li> </ul>			
4	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線共用区間の4車線化整備促進及び主要地方道上米内湯沢線以南への南進について (国, 県)	<p>平成29年度事業内容 調査推進 (道路設計) 工事推進 (改良工事)</p> <p>平成30年度事業予定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 約3億円</li> <li>・事業内容 調査推進：道路設計 工事推進：改良工事</li> <li>・用地進捗率 100% (H30年3月)</li> <li>・事業進捗率 約76% (H30年3月)</li> </ul>			

No.	件名	要望成果				
5	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について (国, 県)	(単位: 千円)				
		区分	要望内容			要望成果
			路線名	工種	要望額	
		継続	津志田白沢線	道路改築	298,000	130,000
		"	谷地頭線	"	30,000	26,430
		"	岩手公園開運橋線ほか	交通安全	41,000	34,251
		"	東中野門線	"	47,900	47,900
		"	南大橋明治橋線	"	50,000	50,000
		"	岩手飯岡駅東西自由通路	"	136,000	42,000
計			602,900	330,581		
6	一般国道4号 渋民バイパス への道の駅整備について (国・県)	道の駅整備方針検討会への国道交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所職員の委員就任や、道の駅整備に関する検討への協力を得て、道の駅設置事業の推進を図った。				
7	都市局所管盛岡市街路事業の推進について (国, 県)	(単位: 千円)				
		区分	要望内容			要望成果
			路線名	工種	要望額	
		30完了	梨木町上米内線	道路改築	230,000	202,400
		継続	盛岡駅南大通線	"	111,000	71,280
		"	明治橋大沢川原線	"	265,300	233,464
計			606,300	507,144		
8	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	<p>○見前地区の堤防強化 L=1,570m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26~28年度 約460m 施工済</li> <li>・平成29年度 約300m 施工済</li> </ul> <p>○環境整備事業により樹木伐採及び中州撤去(河道修正)を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>北上川 樹木伐採 約13,700 m<sup>2</sup></li> <li>中津川 樹木伐採 約1,900 m<sup>2</sup></li> <li>中津川 中州撤去 約700 m<sup>3</sup></li> </ul> </li> </ul>				

No.	件名	要望成果
9	岩手県管理河川改修事業の促進について (国, 県)	<p>1 「木賊川河川改修事業」 平成 29 年度事業費 213,297 千円 (H28-29 繰越 133,297 千円を含む) 遊水地工事 一式 平成 30 年度事業費 25,000 千円 遊水地工事 一式</p> <p>2 「北上川・松川河川改修事業」 ・松川 平成 29 年度事業費 26,166 千円 用地測量・用地補償 一式 平成 30 年度事業費 50,000 千円 河道拡幅等工事 一式 30,000 千円 用地補償 一式 20,000 千円</p>
10	都市基盤河川改修事業の推進について (国, 県)	<p>H29 年度事業費 285,000 千円 借地料 206 千円 工事負担金 (JR横断) 39,912 千円 工事負担金 (H30 繰越) 244,882 千円</p> <p>H30 年度事業費 435,000 千円 借地料 3,000 千円 工事負担金 (JR横断) 432,000 千円</p>
11	一級河川北上川水系築川ダム建設事業の促進について (国, 県)	<p>H29 年度 4,788,155 千円 築川ダム建設事業費 4,788,155 千円 ダム本体工事 一式 取水放流設備 一式 機能補償林道工事 一式</p> <p>H30 年度 5,042,000 千円 築川ダム建設事業費 5,042,000 千円 ダム本体工事 一式 取水放流設備 一式 機能補償林道工事 一式</p>
12	急傾斜地崩壊対策事業の促進について (国, 県)	<p>1 下米内二丁目地区 H27～事業休止中</p> <p>2 安倍館地区 H24～用地交渉継続中</p> <p>3 山岸一丁目地区 H29 構造物設計 (工法検討) H30 地元説明, 用地調査予定</p> <p>4 繫地区 H29 第 1 工区の工事着手 H30 保安林解除手続き, 工事予定</p> <p>5 桜山 (その 3) 地区 H29 地元合意形成 H30 補助採択申請予定</p>

No.	件名	要望成果																		
13	盛岡市土地区画整理事業の推進について (国, 県)	<p>盛岡市土地区画整理事業 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要望計画名</th> <th>要望額</th> <th>配分額 (※)</th> <th>配分額/要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賑わいのある市街地の基盤づくり</td> <td>1,138,500</td> <td>564,868</td> <td>49.6%</td> </tr> <tr> <td>岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり</td> <td>146,500</td> <td>77,620</td> <td>52.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,285,000</td> <td>642,488</td> <td>49.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※…平成30年3月30日内示 国費</p>	要望計画名	要望額	配分額 (※)	配分額/要望額	賑わいのある市街地の基盤づくり	1,138,500	564,868	49.6%	岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり	146,500	77,620	52.9%	合計	1,285,000	642,488	49.9%		
要望計画名	要望額	配分額 (※)	配分額/要望額																	
賑わいのある市街地の基盤づくり	1,138,500	564,868	49.6%																	
岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり	146,500	77,620	52.9%																	
合計	1,285,000	642,488	49.9%																	
14	盛岡地区かわまちづくり事業の促進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会・勉強会の開催予定</li> <li>環境整備事業 (管理用通路・階段の整備, 中州撤去等)</li> </ul>																		
15	盛岡市公共下水道事業の推進について	<p>盛岡市公共下水道事業費 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>要望額</th> <th>暫定内示額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未普及解消事業費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水質保全事業費</td> <td>279,570</td> <td>262,986</td> </tr> <tr> <td>浸水対策事業費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改築更新事業費</td> <td>348,100</td> <td>345,865</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>627,670</td> <td>608,851</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	要望額	暫定内示額	未普及解消事業費			水質保全事業費	279,570	262,986	浸水対策事業費			改築更新事業費	348,100	345,865	合計	627,670	608,851
内 訳	要望額	暫定内示額																		
未普及解消事業費																				
水質保全事業費	279,570	262,986																		
浸水対策事業費																				
改築更新事業費	348,100	345,865																		
合計	627,670	608,851																		
16	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について (国, 県)	<p>平成30年度内示額 浄化槽設置整備事業費補助金 (個人設置型)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費 18,061 千円 うち交付金 4,053 千円 うち県費補助金 6,020 千円</li> <li>整備基数 45 基 (5~10人槽)</li> </ul>																		
17	廃止した廃棄物焼却施設の解体撤去工事費に対する交付金制度の拡充等について	<p>要望は実現されていない。 なお、環境省から「解体のみを行う場合は、廃棄物処理施設という社会資本を整備する公共事業としての性格上、財政支援を行うことは困難である。」こと及び「公共施設総合管理計画に基づく地方債の特例措置を用いることが可能とされている。」と回答されている。</p>																		

No.	件名	要望成果																													
18	国指定史跡志波城跡保存整備事業及び国指定史跡盛岡城跡保存整備事業の推進について	<b>1 史跡盛岡城跡保存整備事業</b> (単位：千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三ノ丸北西部石垣修復等工事</td> <td style="text-align: right;">19,008</td> <td style="text-align: right;">19,008</td> </tr> <tr> <td>電線地中化整備工事</td> <td style="text-align: right;">31,000</td> <td style="text-align: right;">8,180</td> </tr> <tr> <td>三ノ丸北西部石垣修復工事施行監理</td> <td style="text-align: right;">1,878</td> <td style="text-align: right;">1,548</td> </tr> <tr> <td>本丸等樹木伐採業務委託</td> <td style="text-align: right;">11,082</td> <td style="text-align: right;">7,216</td> </tr> <tr> <td>遺構等測量</td> <td style="text-align: right;">5,314</td> <td style="text-align: right;">5,314</td> </tr> <tr> <td>石垣変位調査・石垣基礎調査</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> </tr> <tr> <td>整備委員会・発掘調査等</td> <td style="text-align: right;">8,588</td> <td style="text-align: right;">7,998</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">78,870 (補助額 39,435)</td> <td style="text-align: right;">51,264 (補助額 25,632)</td> </tr> </tbody> </table>	要望内容		要望成果	項目	要望額	三ノ丸北西部石垣修復等工事	19,008	19,008	電線地中化整備工事	31,000	8,180	三ノ丸北西部石垣修復工事施行監理	1,878	1,548	本丸等樹木伐採業務委託	11,082	7,216	遺構等測量	5,314	5,314	石垣変位調査・石垣基礎調査	2,000	2,000	整備委員会・発掘調査等	8,588	7,998	計	78,870 (補助額 39,435)	51,264 (補助額 25,632)
		要望内容		要望成果																											
		項目	要望額																												
		三ノ丸北西部石垣修復等工事	19,008	19,008																											
		電線地中化整備工事	31,000	8,180																											
		三ノ丸北西部石垣修復工事施行監理	1,878	1,548																											
		本丸等樹木伐採業務委託	11,082	7,216																											
		遺構等測量	5,314	5,314																											
		石垣変位調査・石垣基礎調査	2,000	2,000																											
		整備委員会・発掘調査等	8,588	7,998																											
		計	78,870 (補助額 39,435)	51,264 (補助額 25,632)																											
		<b>2 史跡志波城跡用地取得事業及び史跡整備事業</b> (単位：千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>史跡整備</td> <td style="text-align: right;">5,518 (補助額 2,759)</td> <td style="text-align: right;">5,778 (補助額 2,889)</td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td style="text-align: right;">16,491 (補助額 13,192)</td> <td style="text-align: right;">18,972 (補助額 15,177)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">22,009 (補助額 20,436)</td> <td style="text-align: right;">24,750 (補助額 18,066)</td> </tr> </tbody> </table>	要望内容		要望成果	項目	要望額	史跡整備	5,518 (補助額 2,759)	5,778 (補助額 2,889)	用地取得	16,491 (補助額 13,192)	18,972 (補助額 15,177)	計	22,009 (補助額 20,436)	24,750 (補助額 18,066)															
要望内容		要望成果																													
項目	要望額																														
史跡整備	5,518 (補助額 2,759)	5,778 (補助額 2,889)																													
用地取得	16,491 (補助額 13,192)	18,972 (補助額 15,177)																													
計	22,009 (補助額 20,436)	24,750 (補助額 18,066)																													
19	防衛施設周辺整備事業(民生安定施設整備事業)による防災行政無線の整備推進について	<p>本市玉山地域における防災行政無線の更新及びデジタル化整備推進について、防衛施設周辺整備事業(民生安定施設整備事業)の補助事業として採択され、平成30年度においては、実施設計業務を実施することとし、当該補助金9,681千円が交付決定された。</p> <p>※内定 4月25日 ※決定 5月9日</p>																													

# 平成 30 年度県予算要望成果

( 県のみ要望した項目 4 件 )

No.	件 名	要望成果																												
1	スポーツ推進施策の充実強化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度における関係競技団体への選手強化費の支援を継続。(平成30年度:204,194千円)</li> <li>・「県営体育施設の今後のあり方」については、外部有識者や競技団体等からの意見を参考にしながら、市町村との連携・協働、役割分担、県の財政状況等を十分に踏まえ総合的に検討。</li> <li>・スポーツクライミング競技に係るスピード競技施設を整備。</li> <li>・活用に関する公園利用者のニーズや地域振興の観点から当市の意向を踏まえながら将来的な利活用について検討。</li> </ul>																												
2	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	<p>平成 30 年度水道施設耐震化等推進事業費補助金において、予算の確保と要望額通りの内示をいただいた。</p> <p>内示率</p> <p>平成 28 年度 60.5%            要望額 171,739 千円            内示額 103,902 千円</p> <p>平成 29 年度 83.9%            要望額 165,459 千円            内示額 138,819 千円</p> <p>平成 30 年度 100.0% (予定)            要望額 138,046 千円            内示額 138,046 千円</p>																												
3	市町村連携イベントの推進について	<p>東北六魂祭の後継である「東北絆まつり」が、平成 30 年度に盛岡市で開催されることとなり、東北絆まつりの開催に向けたオール岩手の取組に対する支援として、全県への誘客拡大と広域周遊につなげていけるよう、東北絆まつり実行委員会に対する開催経費の一部の補助を行う。</p> <p>東北絆まつり 2018 盛岡開催費補助 50 百万円</p>																												
4	盛岡市内の県道の整備促進について	<p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">要 望 内 容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>路 線 名</th> <th>地区名</th> <th>工 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td> <td>一般県道大ヶ生徳田線</td> <td>徳田橋</td> <td>橋梁架替</td> <td>620,079</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>一般県道渋民川又線・主要地方道盛岡環状線</td> <td>門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>一般県道渋民田道線・好摩停車場線</td> <td>渋民, 大台, 好摩地区</td> <td>交通安全</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>都市計画道路向中野安倍館線</td> <td>上堂地区</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	要 望 内 容			要望成果	路 線 名	地区名	工 種	継続	一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替	620,079	〃	一般県道渋民川又線・主要地方道盛岡環状線	門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区	—	—	〃	一般県道渋民田道線・好摩停車場線	渋民, 大台, 好摩地区	交通安全	35,000	〃	都市計画道路向中野安倍館線	上堂地区	—	—
区分	要 望 内 容			要望成果																										
	路 線 名	地区名	工 種																											
継続	一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替	620,079																										
〃	一般県道渋民川又線・主要地方道盛岡環状線	門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区	—	—																										
〃	一般県道渋民田道線・好摩停車場線	渋民, 大台, 好摩地区	交通安全	35,000																										
〃	都市計画道路向中野安倍館線	上堂地区	—	—																										

		〃	都市計画道路盛岡駅本宮線	杜の大橋	道路改築 橋梁	0
		〃	主要地方道盛岡環状線	岩姫橋	橋梁架替	—
		計				
※県の当初予算額であり、国の交付金内示額とは異なる。						

10.1.19

10.1.19